

令和5年度
札幌市保育士登録者実態調査
調査結果

札幌市子ども未来局

目次

1	調査概要	1
2	回答者プロフィール	2
問 1	年齢構成	2
問 2	保育士資格の取得方法	3
問 3	現在の就労状況	6
3	現役保育士の状況について	9
問 4	就労先の施設類型	9
問 5	現役保育士の雇用形態	11
問 6	現役保育士の就職方法	14
問 7	現在の仕事の満足度	16
問 8	職場で改善してほしい事柄（複数選択）	18
問 9	今後の就労継続の意向	19
問 10	退職（転園）したい理由（複数選択）	21
4	過去に保育士として働いたことのある人の状況について	23
問 11	過去に働いていた施設類型	23
問 12	過去に保育士として働いたことのある人の雇用形態	25
問 13	保育士をやめてからの期間	27
問 14	働いていた施設の就職方法	28
問 15	退職した理由（複数選択）	29
問 16	復職するときに重視する条件（複数選択）	30
問 17	保育士以外の仕事で働いている人の年収	31
5	過去に保育士として働いたことのない人の状況について	33
問 18	保育士として働かなかった理由（複数選択）	33
問 19	保育士として働くこととした場合に重視する条件（複数選択）	35
問 20	保育士以外の仕事で働いている人の年収	36
6	「さぼ笑み」について	38
問 21	「さぼ笑み」の認知度	38
7	調査票	41

1 調査概要

○ 目的

札幌市内の保育士登録者に対し、就労状況等を調査し、現役保育士のほか、保育士資格を有しながら保育士として働いていない、いわゆる「潜在保育士」等の実態を把握するとともに、札幌市が実施している就職支援や就業継続支援施策の広報等を実施し、札幌市で働く保育人材の確保に繋げることなどを目的として実施した。

○ 調査対象

令和5年12月時点の保育士登録住所が札幌市である保育士登録者 24,781 人

○ 調査実施時期

令和6年2月9日（金）～令和6年2月29日（木）

○ 調査方法

調査対象者に調査票等を送付し、調査票の返送またはオンラインフォームで回答

○ 有効回収数等

対象者人数 : 24,781 人

有効送付人数 : 14,895 人（全送付人数 : 24,781 人 — 返戻人数 : 9,886 人）

回答人数 : 5,260 人（調査票回答 2,186 人、オンライン回答 3,074 人）

回答率 : 35.3%

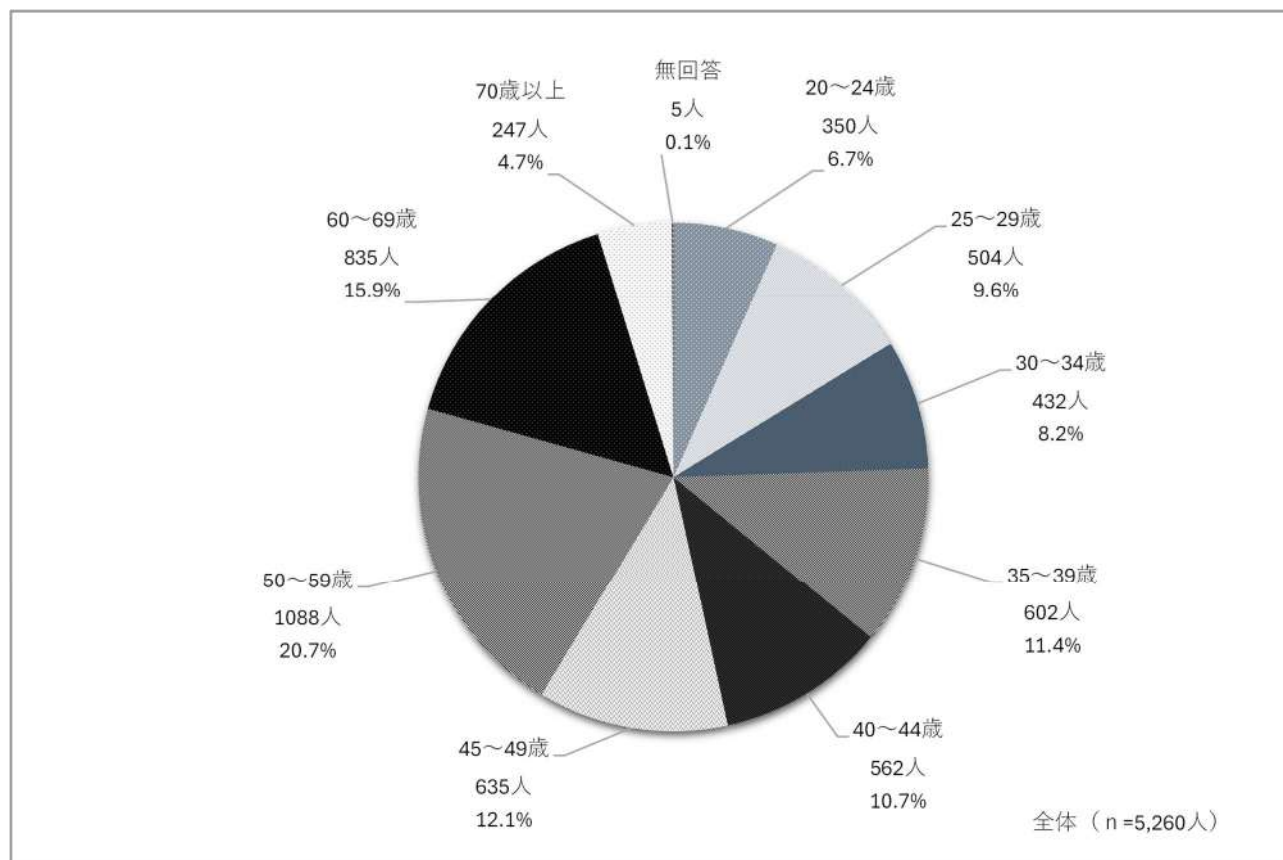
○ 前回調査との比較

平成30年度に実施した「札幌市保育士実態調査」との比較は以下のとおり

	保育士登録者数	有効送付数	回答数	回答率
今回調査	24,781 人	14,895 人	5,260 人	35.3%
H30 調査	18,288 人	12,038 人	3,820 人	31.7%

2 回答者プロフィール

問1 年齢構成

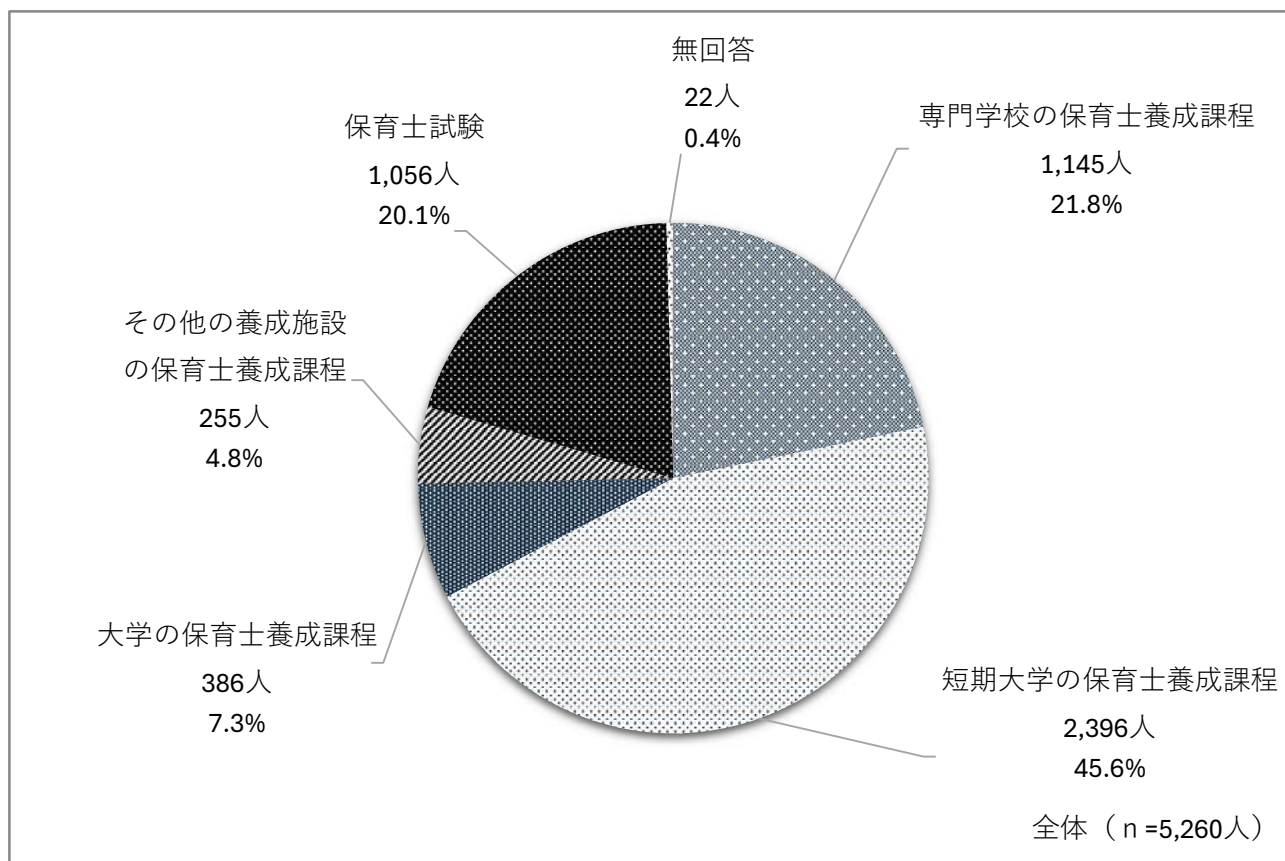


回答者の年齢構成は、20代 854人（16.3%）、30代 1,034人（19.6%）、40代 1,197人（22.8%）、50代 1,088人（20.7%）、60代 835人（15.9%）であった。

【前回調査との比較】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
今回調査	854人 16.3%	1,034人 19.6%	1,197人 22.8%	1,088人 20.7%	835人 15.9%	247人 4.7%	5人 0.1%	5,260人 100.0%
H30調査	701人 18.4%	910人 23.8%	870人 22.8%	823人 21.5%	432人 11.3%	84人 2.2%	0人 0.0%	3,820人 100.0%

問2 保育士資格の取得方法



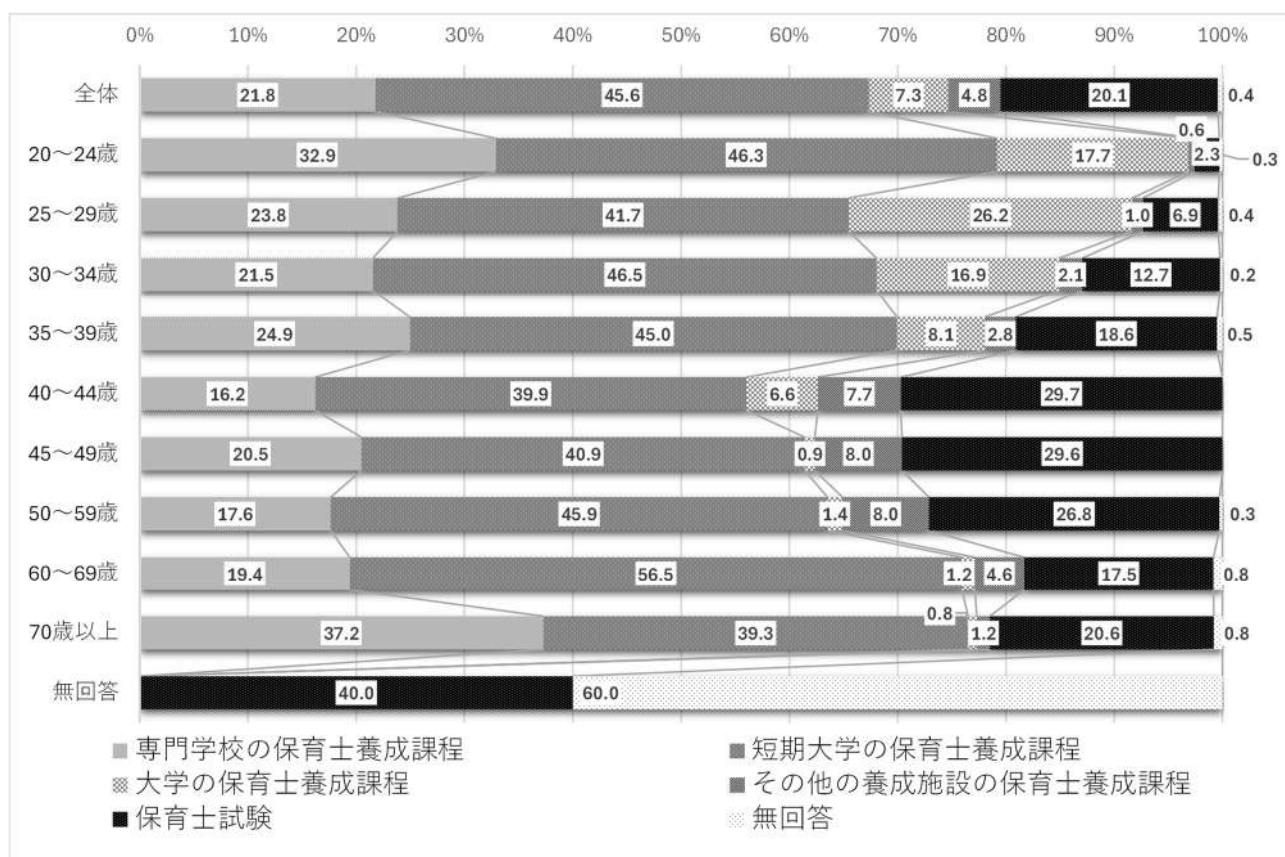
保育士登録者の資格取得方法は、「短期大学の保育士養成課程」(45.6%)、「専門学校の保育士養成課程」(21.8%)、「保育士試験」(20.1%)、「大学の保育士養成課程」(7.3%)の順であった。

平成30年度に実施した前回調査でも、「短期大学の保育士養成課程」(51.6%)、「専門学校の保育士養成課程」(24.7%)、「保育士試験」(14.6%)、「大学の保育士養成課程」(5.9%)と同じ順であったが、「保育士試験」の人数、割合が今回調査では(559人→1,056人、14.6%→20.1%)に増加している。

【前回調査との比較】

	専門学校	短期大学	大学	その他の養成施設	保育士試験	無回答	合計
今回調査	1,145人 21.8%	2,396人 45.6%	386人 7.3%	255人 4.8%	1,056人 20.1%	22人 0.4%	5,260人 100.0%
H30調査	942人 24.7%	1,972人 51.6%	224人 5.9%	95人 2.5%	559人 14.6%	28人 0.7%	3,820人 100.0%

問2 保育士資格の取得方法＜年齢階層別割合＞

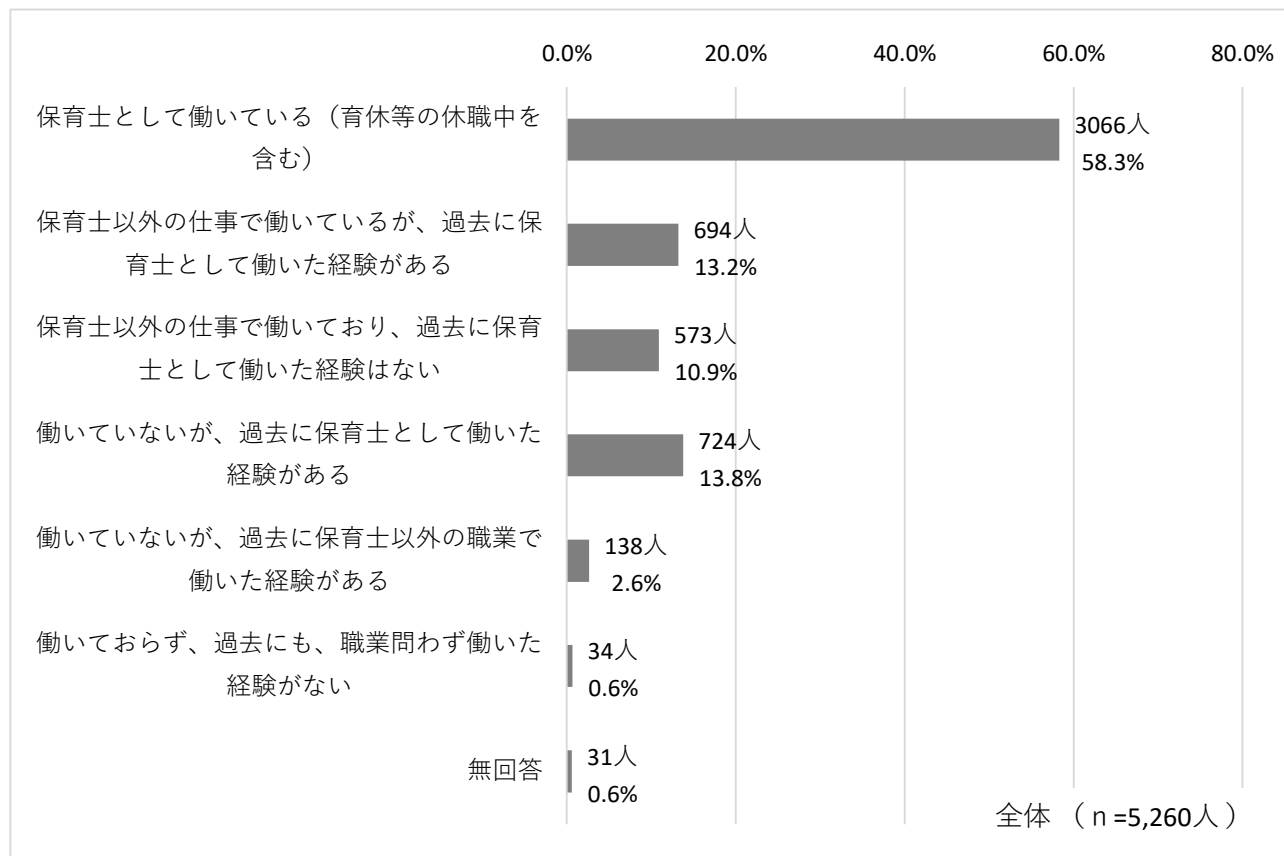


問2 保育士資格の取得方法＜年齢階層別人数＞

			合計	専門 養 成 校 の 保 育 士	短期 大 学 の 保 育 士	大 学 の 保 育 士 養 成	の そ 保 育 の 他 の 養 成 成 課 施 程 設	保 育 士 試 験	無 回 答
年齢	全体	人数 割合(%)	5,260 100.0	1,145 21.8	2,396 45.6	386 7.3	255 4.8	1,056 20.1	22 0.4
	20～24歳	人数 割合(%)	350 100.0	115 32.9	162 46.3	62 17.7	2 0.6	8 2.3	1 0.3
	25～29歳	人数 割合(%)	504 100.0	120 23.8	210 41.7	132 26.2	5 1.0	35 6.9	2 0.4
	30～34歳	人数 割合(%)	432 100.0	93 21.5	201 46.5	73 16.9	9 2.1	55 12.7	1 0.2
	35～39歳	人数 割合(%)	602 100.0	150 24.9	271 45.0	49 8.1	17 2.8	112 18.6	3 0.5
	40～44歳	人数 割合(%)	562 100.0	91 16.2	224 39.9	37 6.6	43 7.7	167 29.7	0 0.0
	45～49歳	人数 割合(%)	635 100.0	130 20.5	260 40.9	6 0.9	51 8.0	188 29.6	0 0.0
	50～59歳	人数 割合(%)	1,088 100.0	192 17.6	499 45.9	15 1.4	87 8.0	292 26.8	3 0.3
	60～69歳	人数 割合(%)	835 100.0	162 19.4	472 56.5	10 1.2	38 4.6	146 17.5	7 0.8
	70歳以上	人数 割合(%)	247 100.0	92 37.2	97 39.3	2 0.8	3 1.2	51 20.6	2 0.8
	無回答	人数 割合(%)	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0

「保育士資格の取得方法」を「年齢階層別」に見ると、35 歳以上の階層において「保育士試験」の割合が高くなっている。保育士養成施設を経由せずに、社会人となってから資格取得に取り組む人が増加していることなどが反映されているものと考えられる。

問3 現在の就労状況



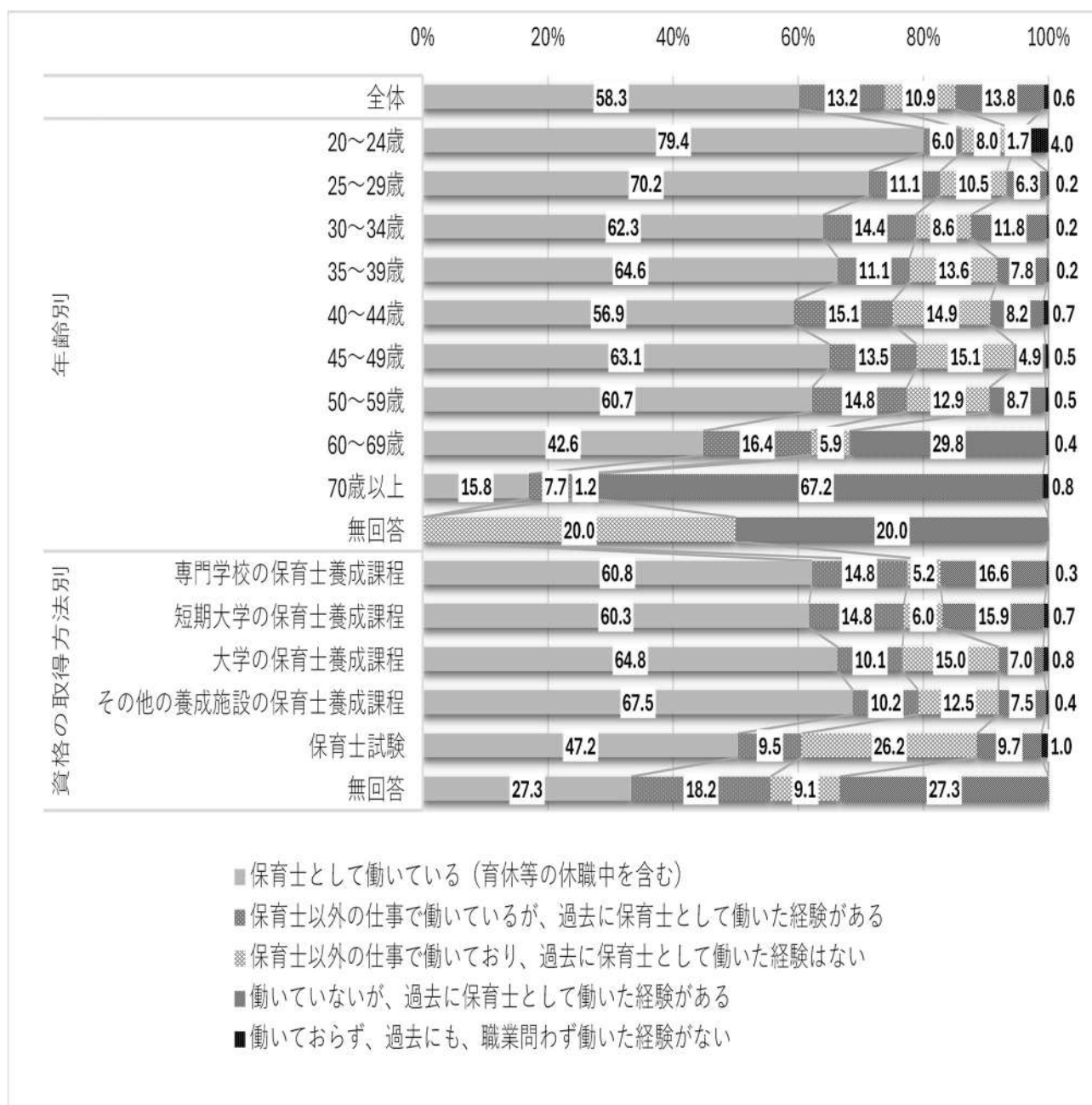
現在の就労状況は「保育士として働いている」（58.3%）、「働いていないが、過去に保育士として働いた経験がある」（13.8%）、「保育士以外の仕事で働いているが、過去に保育士として働いた経験がある」（13.2%）、「保育士以外の仕事で働いており、過去に保育士として働いた経験はない」（10.9%）の順となっている。

平成30年度の前回調査では、「保育士として働いている」と回答した割合は（49.0%）であったことから、保育士として働く人の割合は増えていると言えるが（49.0%→58.3%）、依然として4割以上の有資格者が、保育士資格を有しながら保育士として働いていない、いわゆる「潜在保育士」の状態にある。

【前回調査との比較】

	保育士として働いている	保育士以外の仕事で働いている（保育士経験有）	保育士以外の仕事で働いている（保育士経験無）	働いていない（保育士経験有）	働いていない（保育士以外の経験有）	働いていない（働いた経験がない）	無回答	合計
今回調査	3,066人 58.3%	694人 13.2%	573人 10.9%	724人 13.8%	138人 2.6%	34人 0.6%	31人 0.6%	5,260人 100.0%
H30調査	1,874人 49.0%	502人 13.1%	432人 11.3%	707人 18.5%	146人 3.8%	20人 0.5%	139人 3.6%	3,820人 100.0%

問3 現在の就労状況＜年齢階層・資格の取得方法別割合＞



年齢階層別にみると、20代は「保育士として働いている」割合は70%を超えているが、30代以降になると、徐々に減少していく。

資格の取得方法別に見ると、「大学の保育士養成課程」で資格を取得した人は、「保育士以外の仕事で働いており、過去に保育士として働いた経験はない」割合が、「専門学校」「短期大学」と比べると高い（15.0%）。

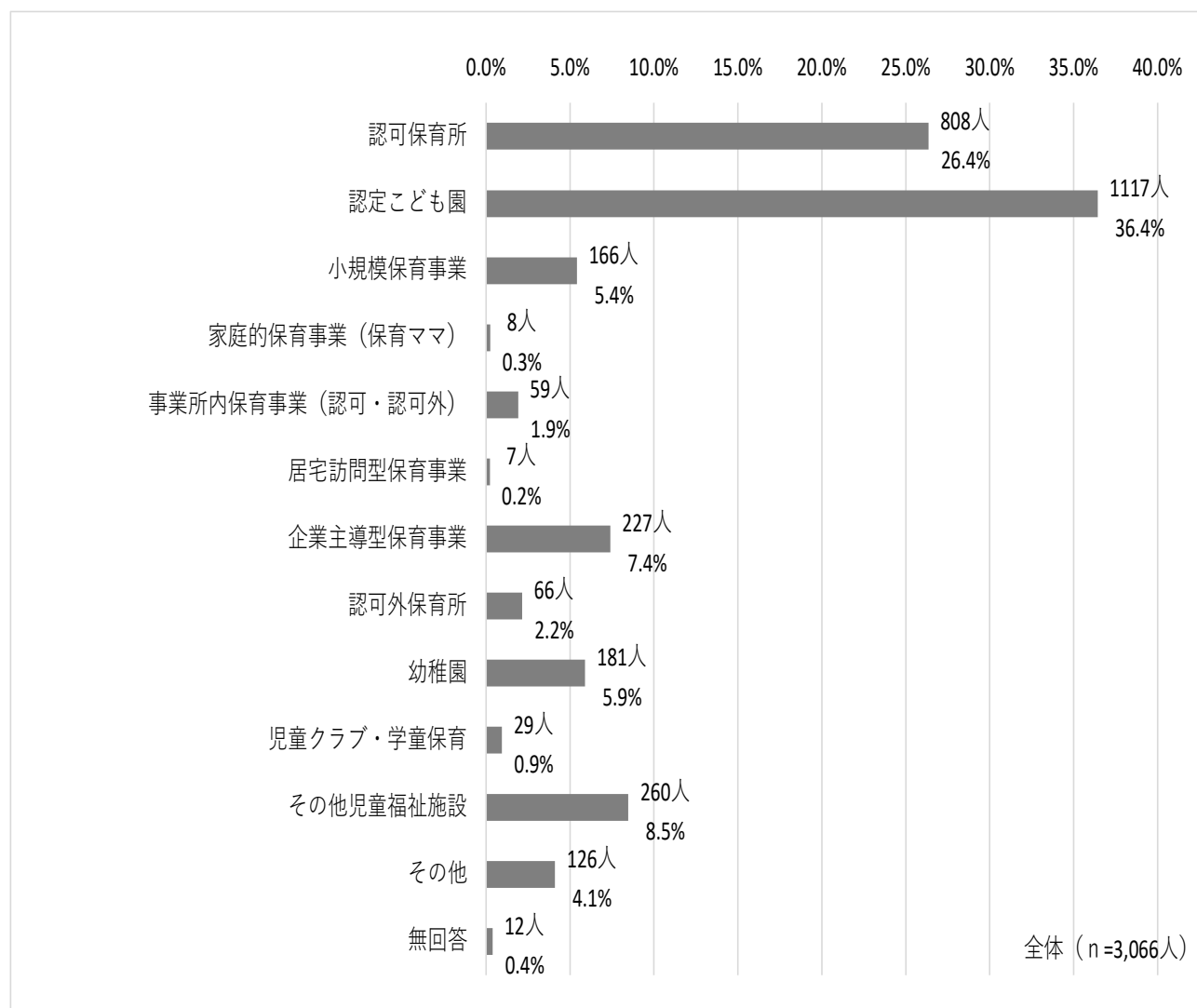
また、「保育士試験」で資格を取得した人は「保育士として働いている」割合が低く（47.2%）、一方で「保育士以外の仕事で働いており、過去に保育士として働いた経験がない」割合が他の取得方法と比べると最も高い（26.2%）。問18で「保育士として働かなかった理由」を尋ねたところ、「保育士試験」で資格を取得した人は、「資格取得が目的で、すぐに保育士として働く意思はなかった」と回答した割合が（44.5%）と最も高かった。

問3 現在の就労状況＜年齢階層・資格の取得方法別人数＞

			合計	保育士としての働いている（育休等の休職中を含む）	保育士以外の仕事で働いているが、過去の保育士としての経験がある	保育士以外の仕事で働いており、過去に保育士として働いた経験はない	働いていないが、過去に保育士として働いた経験がある	働いていないが、過去に保育士以外の職業で働いた経験がある	働いておらず、過去にも、職業問わず働いた経験がない	無回答
年齢	全体	人数 割合(%)	5,260 100.0	3,066 58.3	694 13.2	573 10.9	724 13.8	138 2.6	34 0.6	31 0.6
	20～24歳	人数 割合(%)	350 100.0	278 79.4	21 6.0	28 8.0	6 1.7	3 0.9	14 4.0	0 0.0
	25～29歳	人数 割合(%)	504 100.0	354 70.2	56 11.1	53 10.5	32 6.3	8 1.6	1 0.2	0 0.0
	30～34歳	人数 割合(%)	432 100.0	269 62.3	62 14.4	37 8.6	51 11.8	11 2.5	1 0.2	1 0.2
	35～39歳	人数 割合(%)	602 100.0	389 64.6	67 11.1	82 13.6	47 7.8	15 2.5	1 0.2	1 0.2
	40～44歳	人数 割合(%)	562 100.0	320 56.9	85 15.1	84 14.9	46 8.2	22 3.9	4 0.7	1 0.2
	45～49歳	人数 割合(%)	635 100.0	401 63.1	86 13.5	96 15.1	31 4.9	14 2.2	3 0.5	4 0.6
	50～59歳	人数 割合(%)	1,088 100.0	660 60.7	161 14.8	140 12.9	95 8.7	25 2.3	5 0.5	2 0.2
	60～69歳	人数 割合(%)	835 100.0	356 42.6	137 16.4	49 5.9	249 29.8	29 3.5	3 0.4	12 1.4
	70歳以上	人数 割合(%)	247 100.0	39 15.8	19 7.7	3 1.2	166 67.2	11 4.5	2 0.8	7 2.8
	無回答	人数 割合(%)	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
取得方法	全体	人数 割合(%)	5,260 100.0	3,066 58.3	694 13.2	573 10.9	724 13.8	138 2.6	34 0.6	31 0.6
	専門学校の保育士養成課程	人数 割合(%)	1,145 100.0	696 60.8	170 14.8	60 5.2	190 16.6	18 1.6	3 0.3	8 0.7
	短期大学の保育士養成課程	人数 割合(%)	2,396 100.0	1,444 60.3	355 14.8	144 6.0	380 15.9	42 1.8	16 0.7	15 0.6
	大学の保育士養成課程	人数 割合(%)	386 100.0	250 64.8	39 10.1	58 15.0	27 7.0	8 2.1	3 0.8	1 0.3
	その他の養成施設の保育士養成課程	人数 割合(%)	255 100.0	172 67.5	26 10.2	32 12.5	19 7.5	5 2.0	1 0.4	0 0.0
	保育士試験	人数 割合(%)	1,056 100.0	498 47.2	100 9.5	277 26.2	102 9.7	65 6.2	11 1.0	3 0.3
	無回答	人数 割合(%)	22 100.0	6 27.3	4 18.2	2 9.1	6 27.3	0 0.0	0 0.0	4 18.2

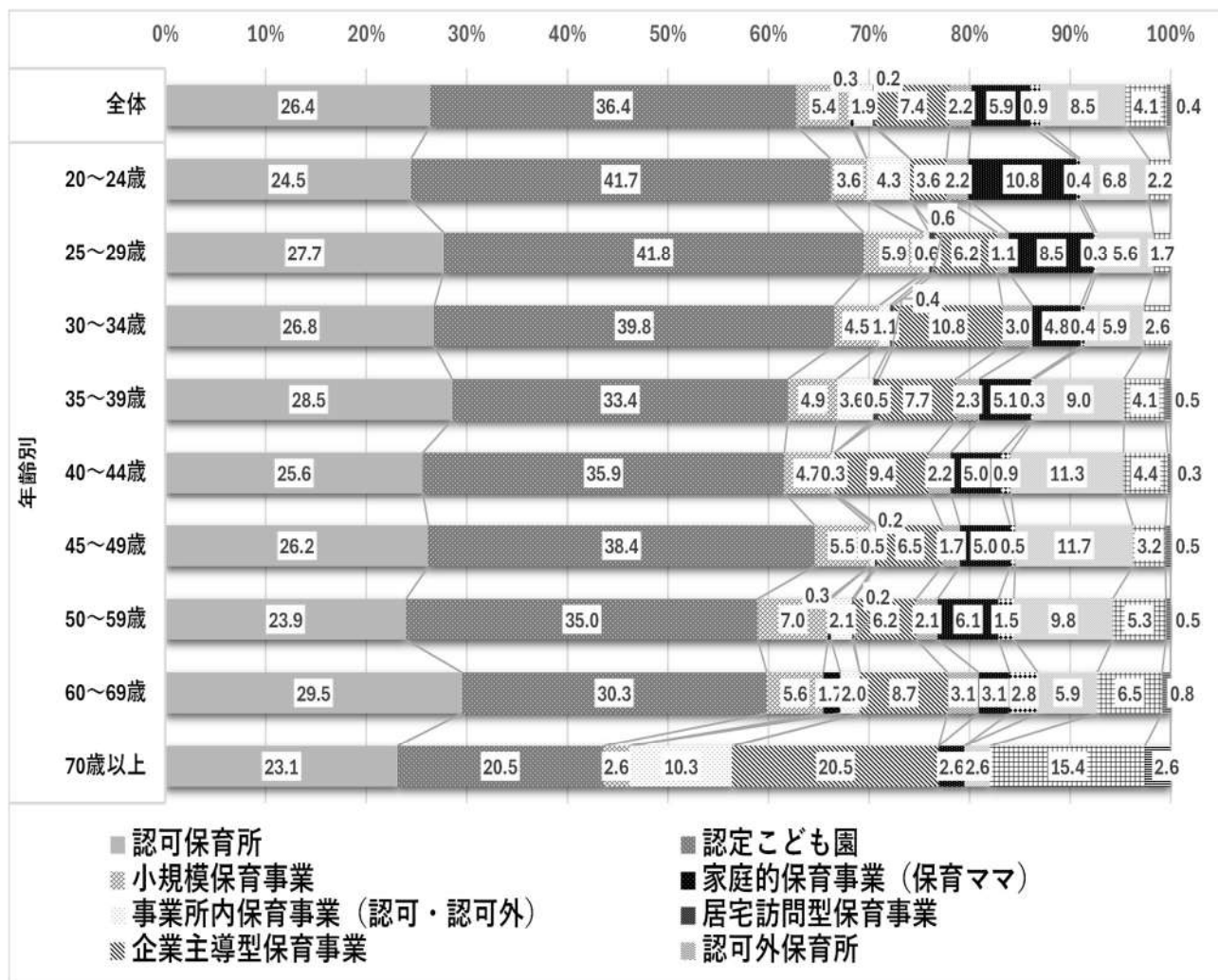
3 現役保育士の状況について

問4 就労先の施設類型



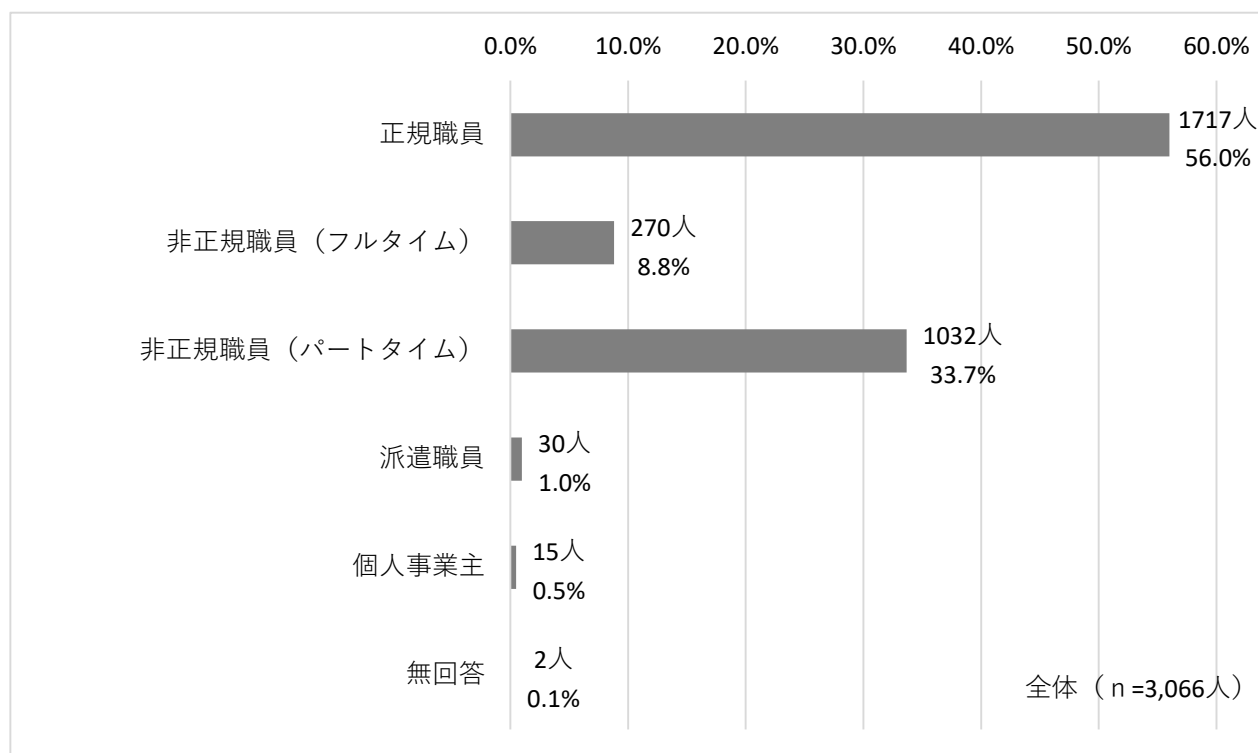
「保育士として働いている人」の「就労先の施設類型」については、「認定こども園」（36.4%）、「認可保育所（26.4%）」、「その他児童福祉施設（児童発達支援施設、児童養護施設、障害児入所施設など）」（8.5%）、「企業主導型保育事業所」（7.4%）の順となった。

問4 就労先の施設類型＜年齢階層別割合＞



年齢階層別の「就労先の施設類型」に大きな傾向はみられないが、若年層において「家庭的保育事業（保育ママ）」の割合が他の階層と比較すると高い。

問5 現役保育士の雇用形態



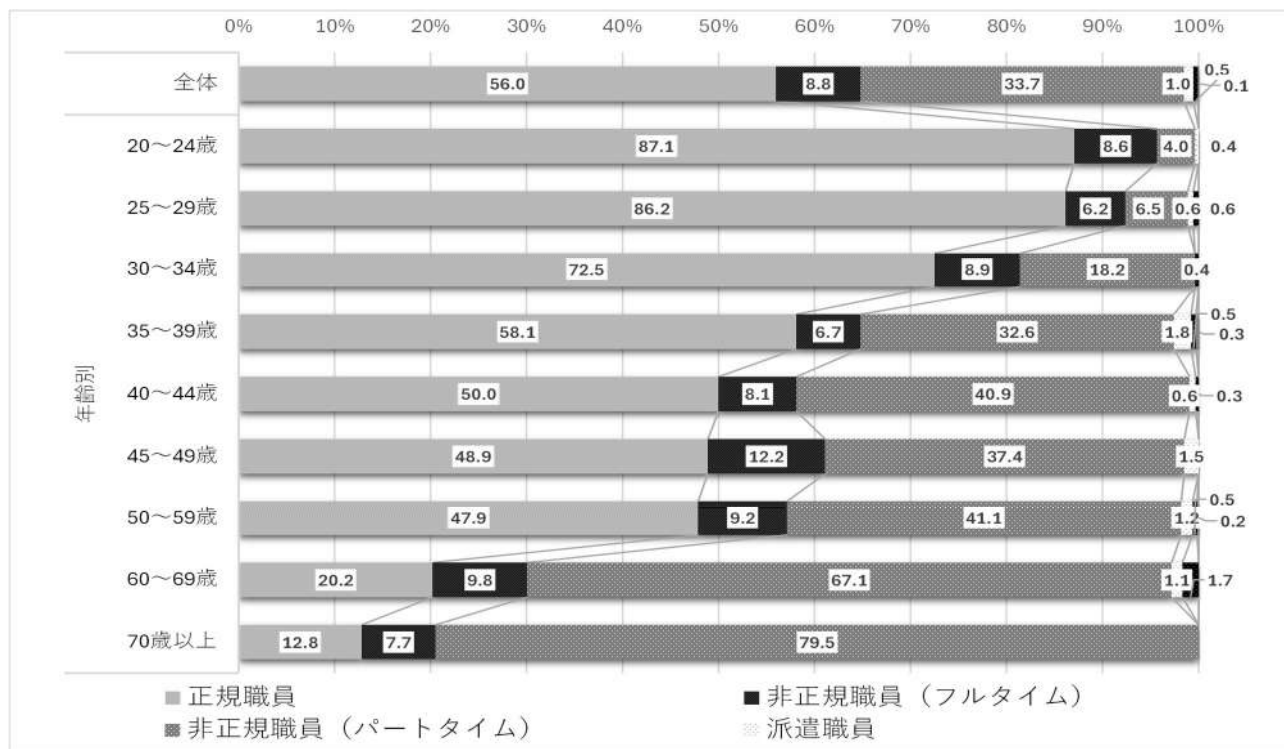
「保育士として働いている人」の雇用形態は、「正規職員」（56.0%）、「非正規職員（パートタイム）」（33.7%）、「非正規職員（フルタイム）」（8.8%）の順となっている。

平成30年度の前回調査では、「正規職員」（51.6%）、「非正規職員（パートタイム）」（33.2%）、「非正規職員（フルタイム）」（12.2%）の順であった。「非正規職員（フルタイム）」が減少し（12.2%→8.8%）、「正規職員」の割合が増加している（51.6%→56.0%）。

【前回調査との比較】

	正規職員	非正規職員 （フルタイム）	非正規職員 （パートタイム）	派遣職員	個人事業主	無回答	合計
今回調査	1,717人 56.0%	270人 8.8%	1,032人 33.7%	30人 1.0%	15人 0.5%	2人 0.1%	3,066人 100.0%
H30 調査	967人 51.6%	229人 12.2%	624人 33.3%	18人 1.0%	14人 0.7%	22人 1.2%	1,874人 100.0%

問5 現役保育士の雇用形態＜年齢階層別割合＞



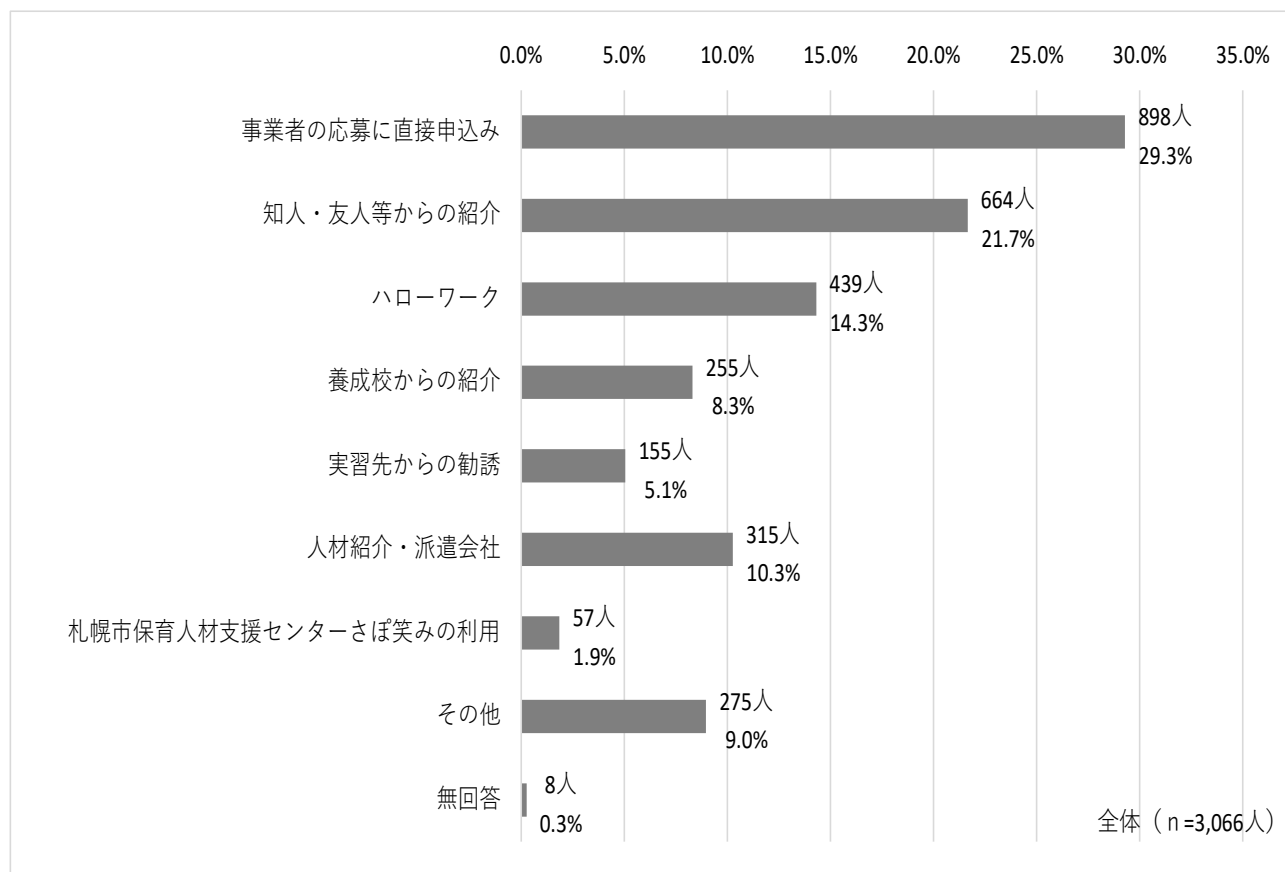
問5 現役保育士の雇用形態＜年齢階層別人数＞

			合計	正規職員	正規職員（フルタイム）	非正規職員（パートタイム）	派遣職員	個人事業主	無回答
年齢	全体	人数	3,066	1,717	270	1,032	30	15	2
		割合(%)	100.0	56.0	8.8	33.7	1.0	0.5	0.1
	20～24歳	人数	278	242	24	11	1	0	0
		割合(%)	100.0	87.1	8.6	4.0	0.4	0.0	0.0
	25～29歳	人数	354	305	22	23	2	2	0
		割合(%)	100.0	86.2	6.2	6.5	0.6	0.6	0.0
	30～34歳	人数	269	195	24	49	0	1	0
		割合(%)	100.0	72.5	8.9	18.2	0.0	0.4	0.0
	35～39歳	人数	389	226	26	127	7	2	1
		割合(%)	100.0	58.1	6.7	32.6	1.8	0.5	0.3
	40～44歳	人数	320	160	26	131	2	1	0
		割合(%)	100.0	50.0	8.1	40.9	0.6	0.3	0.0

年齢階層別に見ると、20代は「正規職員」が9割近いものの、30代以降は大きく減少し、一方で「非正規職員（パートタイム）」の割合が高くなっている。特に40代以降は「正規職員」の割合が5割以下となっている。

問 15 で「過去に保育士として働いたことのある人」に「保育士の仕事を退職した理由」を尋ねたところ、「結婚・妊娠・出産・育児」が 23.1%と、「その他」を除いて最も多く、「ワークライフバランス・休暇等の確保が難しい」も 15.0%となっている。

問6 現役保育士の就職方法



現役保育士の就職方法は、「事業者の応募に直接申込み」（29.3%）、「知人・友人等からの紹介」（21.7%）、「ハローワーク」（14.3%）、「人材紹介・派遣会社」（10.3%）の順となった。

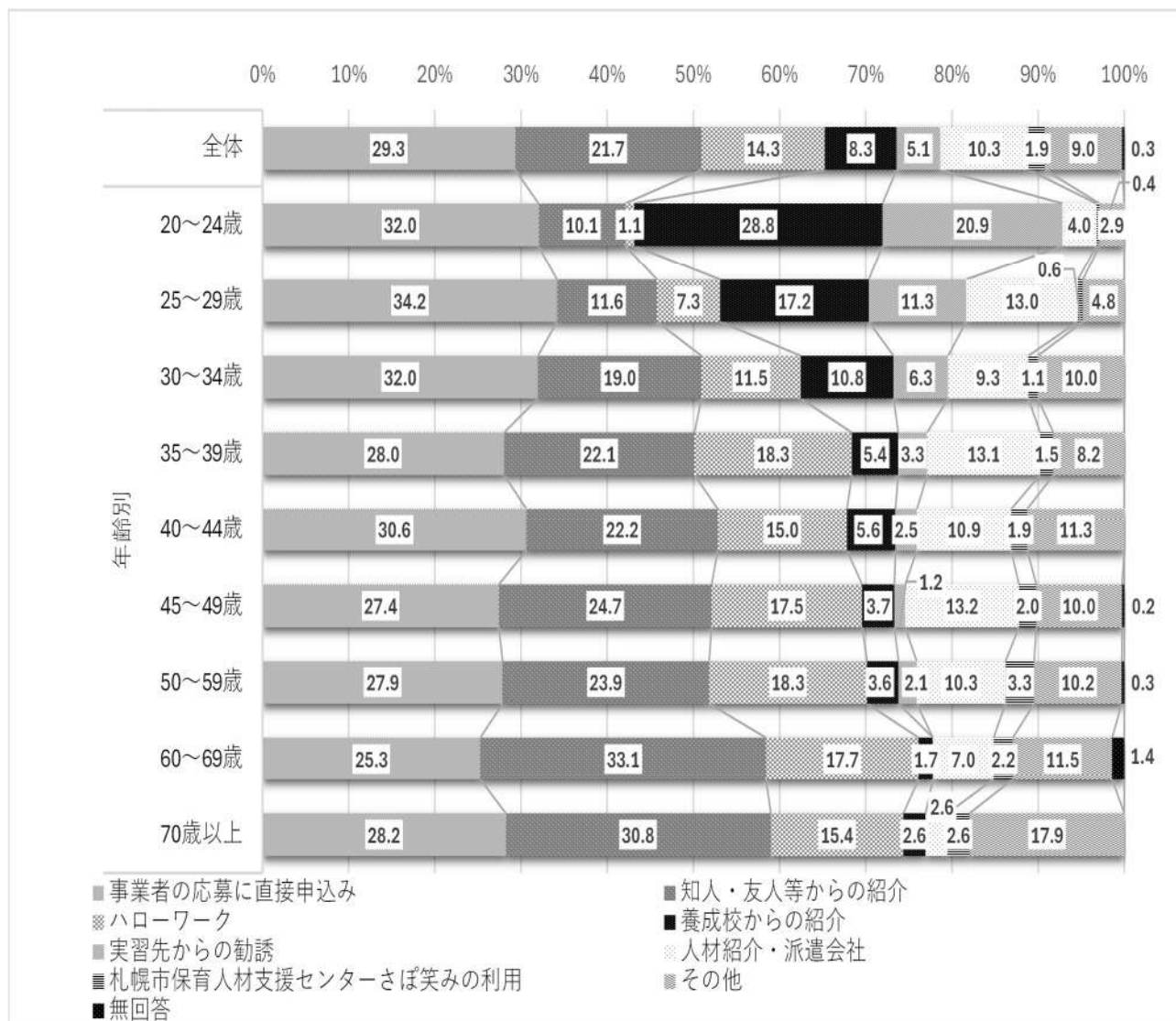
平成30年度の前回調査では、「ハローワーク」（24.7%）、「事業者の応募に直接申込み」（23.4%）、「知人・友人等からの紹介」（19.5%）の順で、「人材紹介・派遣会社」は（3.0%）であった。

この間、「ハローワーク」は（24.7%→14.3%）に減少し、一方で「人材紹介・派遣会社」が（3.0%→10.3%）と増加している。

【前回調査との比較】

	事業者の 応募に直 接申込み	知人・友 人等から の紹介	ハローワ ーク	養成校か らの紹介	実習先か らの勧誘	人材紹 介・派遣 会社	さば笑み の利用	その他	無回答	合計
今回調査	898人 29.3%	664人 21.7%	439人 14.3%	255人 8.3%	155人 5.1%	315人 10.3%	57人 1.9%	275人 9.0%	8人 0.3%	3,066人 100.0%
H30調査	439人 23.4%	365人 19.5%	463人 24.7%	191人 10.2%	85人 4.5%	57人 3.0%	35人 1.9%	190人 10.1%	49人 2.6%	1,874人 100.0%

問6 現役保育士の就職方法＜年齢階層別割合＞

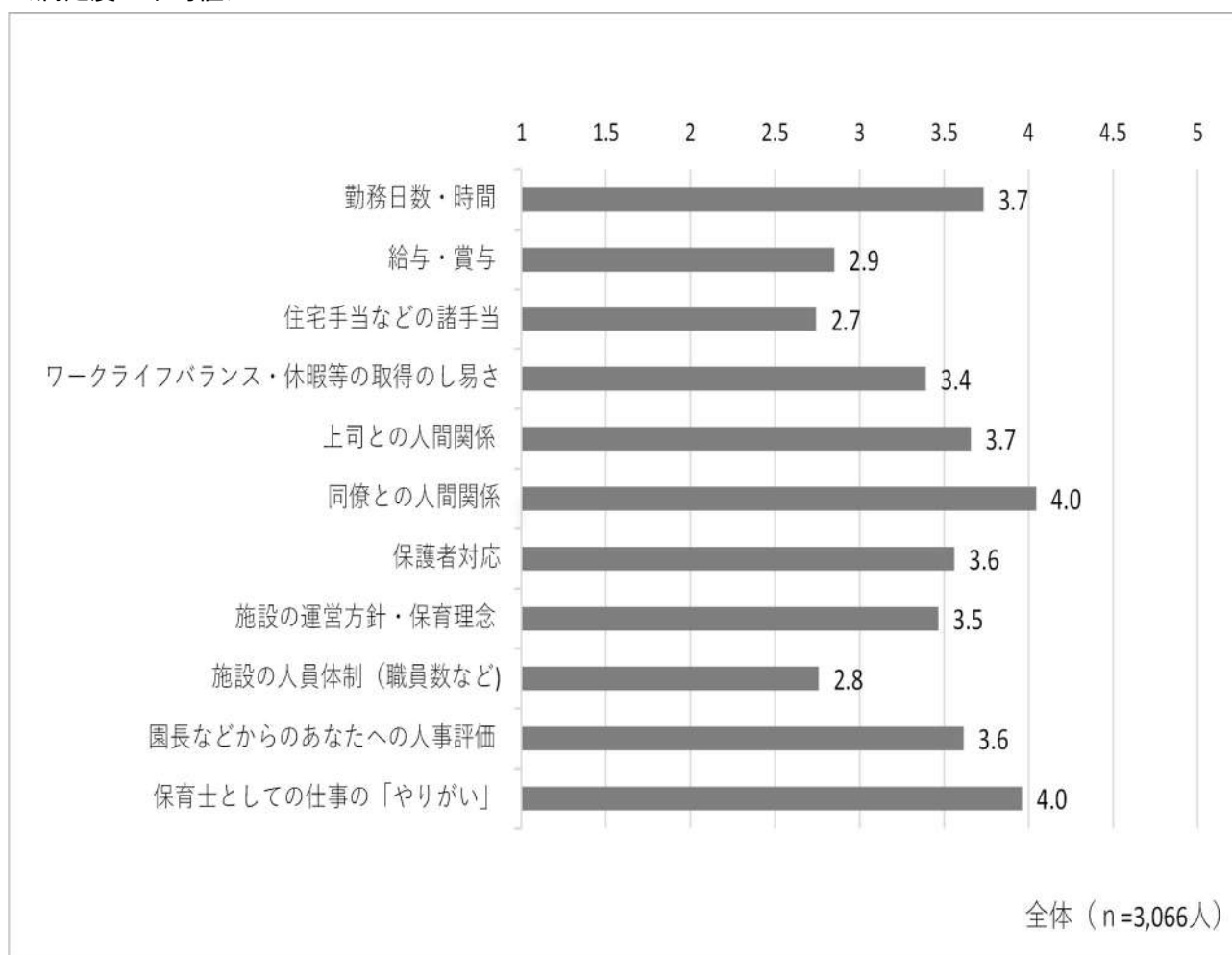


年齢階層別に見ると、若年層は「養成校からの紹介」「実習先からの勧誘」の割合が大きいですが、階層が上がるにつれて減少していく。

「問5 現役保育士の雇用形態」での考察のとおり、30代になると、ライフステージの変化に伴い、退職、転職する人が相当数いることなどから、再就職する際には「知人・友人等からの紹介」「ハローワーク」の割合が高くなっているものと考えられる。

問7 現在の仕事の満足度

<満足度の平均値>



現役保育士に対し、「現在の仕事の満足度」について、「満足：5 やや満足：4 どちらとも言えない：3 やや不満：2 不満：1」を回答してもらい、その平均値を算出した。

「保育士としての仕事のやりがい」、「同僚との人間関係」は（平均 4.0）と高い数値となる一方で、「給与・賞与」（平均 2.9）、「施設の人員体制（職員数など）」（平均 2.8）、「住宅手当などの諸手当」（平均 2.7）、が低い数値となった。

平成 30 年度の前回調査では、回答項目等は異なるが、比較可能な項目については、「保育士としての仕事のやりがい」（平均 4.0）、「同僚との人間関係」（平均 4.0）は今回と同様に高い数値であり、「勤務日数」（平均 3.8）、「休暇日数」（平均 3.3）、「給与・賞与等」（平均 2.8）であった。「給与・賞与等」については、どちらも低い数値となっている。

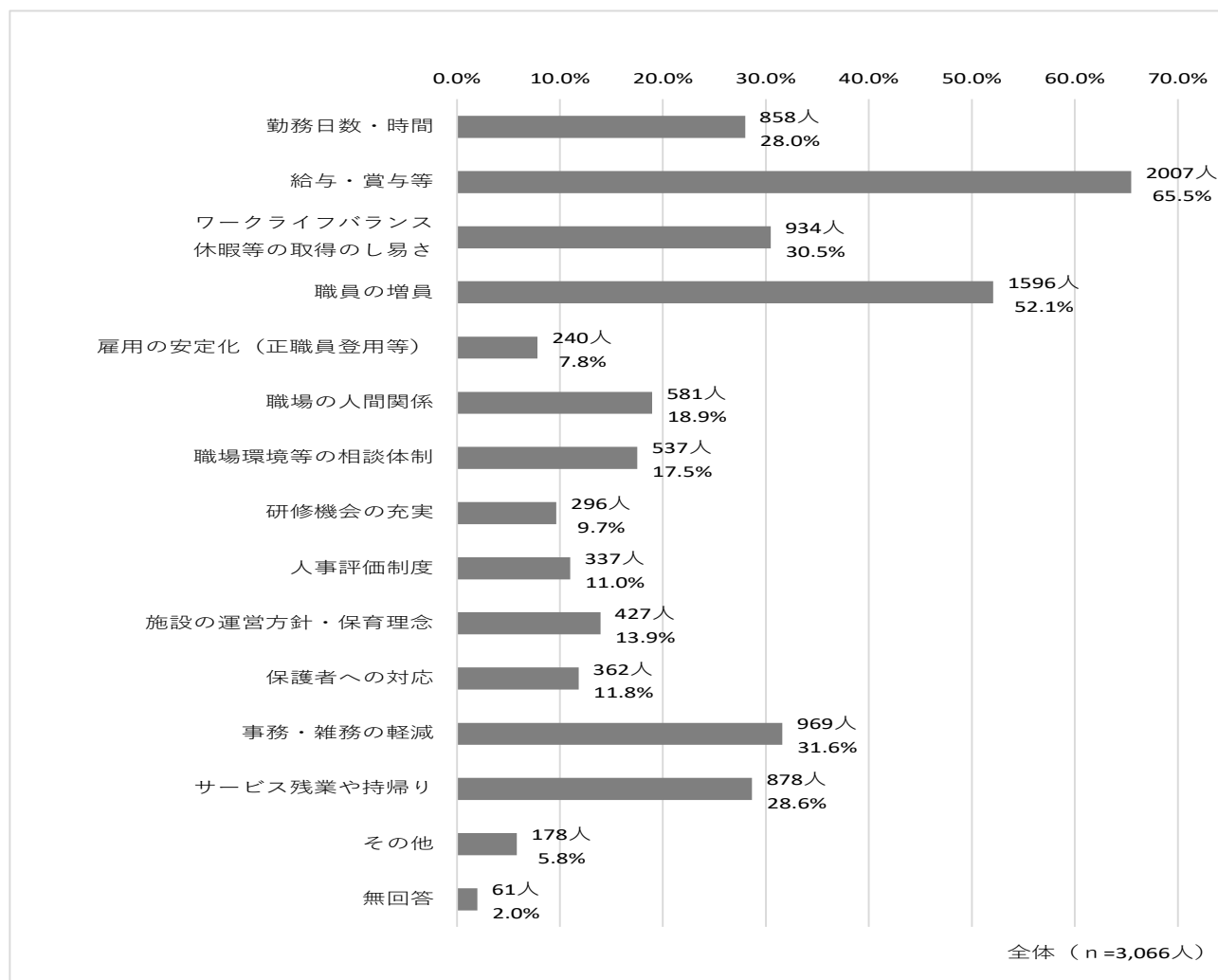
【前回調査との比較】

	勤務日数・時間	給与・賞与	ワークライフバランス・休暇等の取得のし易さ（休暇日数）	同僚との人間関係	保育士としての仕事のやりがい
今回調査	3.7	2.9	3.4	4.0	4.0
H30 調査	3.8	2.8	3.3	4.0	4.0

問7 現在の仕事の満足度＜人数・割合＞

		全 体	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
勤務日数・時間	人数	3066	1009	977	508	389	180	3
	割合(%)	100.0	32.9	31.9	16.6	12.7	5.9	0.1
給与・賞与	人数	3066	469	709	489	683	711	5
	割合(%)	100.0	15.3	23.1	15.9	22.3	23.2	0.2
住宅手当などの諸手当	人数	3066	390	378	1029	474	728	67
	割合(%)	100.0	12.7	12.3	33.6	15.5	23.7	2.2
ワークライフバランス・休暇等の取得のし易さ	人数	3066	812	830	534	507	374	9
	割合(%)	100.0	26.5	27.1	17.4	16.5	12.2	0.3
上司との人間関係	人数	3066	926	943	641	321	229	6
	割合(%)	100.0	30.2	30.8	20.9	10.5	7.5	0.2
同僚との人間関係	人数	3066	1214	1079	532	164	73	4
	割合(%)	100.0	39.6	35.2	17.4	5.3	2.4	0.1
保護者対応	人数	3066	558	999	1178	225	90	16
	割合(%)	100.0	18.2	32.6	38.4	7.3	2.9	0.5
施設の運営方針・保育理念	人数	3066	643	910	923	379	197	14
	割合(%)	100.0	21.0	29.7	30.1	12.4	6.4	0.5
施設の人員体制（職員数など）	人数	3066	406	589	625	730	706	10
	割合(%)	100.0	13.2	19.2	20.4	23.8	23.0	0.3
園長などからのあなたへの人事評価	人数	3066	728	862	1132	200	122	22
	割合(%)	100.0	23.7	28.1	36.9	6.5	4.0	0.7
保育士としての仕事の「やりがい」	人数	3066	1014	1206	603	166	67	10
	割合(%)	100.0	33.1	39.3	19.7	5.4	2.2	0.3

問8 職場で改善してほしい事柄（複数選択）



「職場で改善してほしい事柄」については、「問7 現在の仕事の満足度」の傾向と同様に、満足度が高くなかった「給与・賞与等」（65.5%）、「職員の増員」（52.1%）が上位となった。

また、「事務・雑務の軽減」（31.6%）、「ワークライフバランス・休暇等の取得のし易さ」（30.5%）、「サービス残業や持帰り」（28.6%）の割合も高くなっている。

平成30年度の前回調査では、「給与・賞与等」（57.0%）、「職員の増員」（55.3%）、「勤務体制や休暇の取得」（41.7%）、「事務・雑務の軽減」（40.7%）、「サービス残業や持ち帰りが多い」（30.3%）が上位であった。

特に「給与・賞与等」、「職員の増員」については、高い水準が続いている。

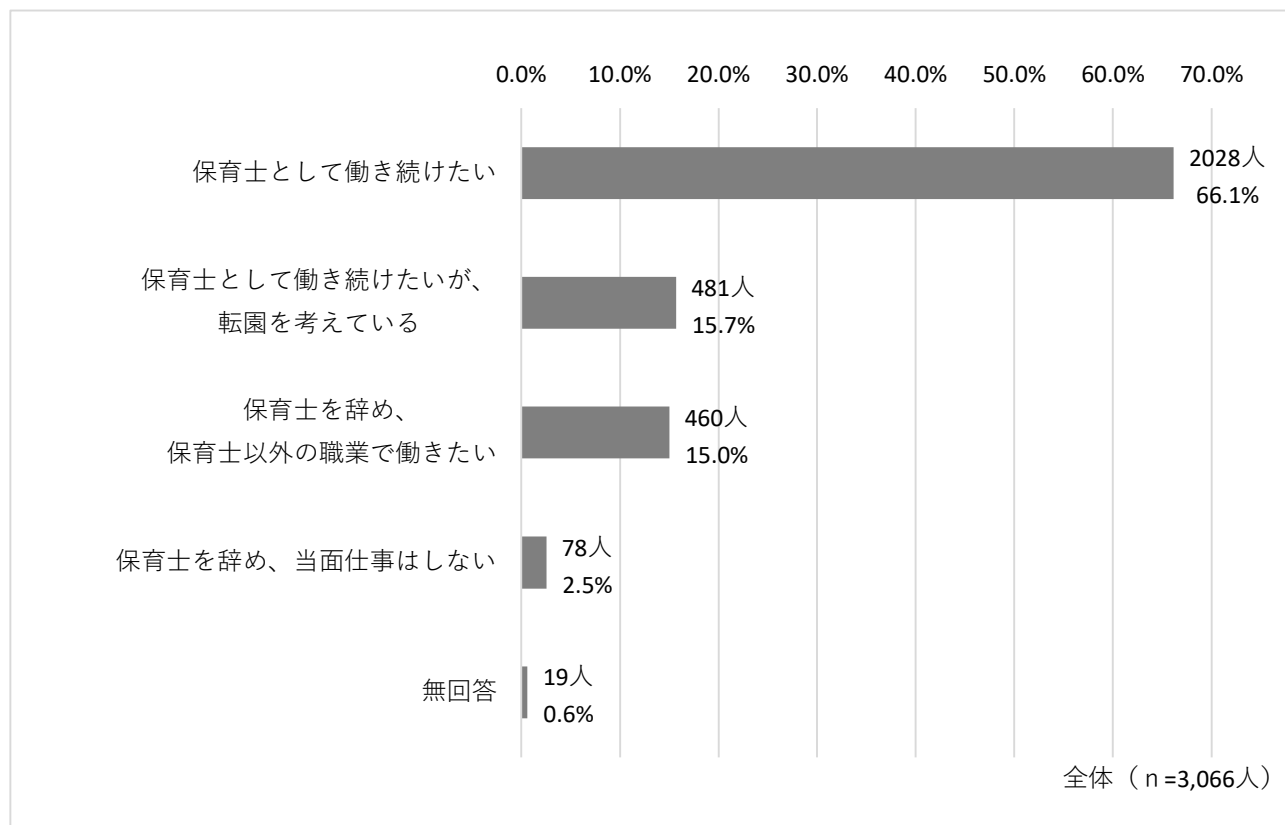
【前回調査との比較】

	給与・賞与等	ワークライフバランス・休暇・勤務体制	職員の増員	職場の人間関係	職場環境等の相談体制	人事評価制度	施設の運営方針・保育理念	保護者への対応	事務・雑務の軽減	サービス残業や持帰り
今回調査	2,007人 65.5%	934人 30.5%	1,596人 52.1%	581人 18.9%	537人 17.5%	337人 11.0%	427人 13.9%	362人 11.8%	969人 31.6%	878人 28.6%
H30調査	1,069人 57.0%	782人 41.7%	1,037人 55.3%	337人 18.0%	304人 16.2%	171人 9.1%	190人 10.1%	195人 10.4%	763人 40.7%	567人 30.3%

※回答者数：今回調査 3,066 人、H30 調査 1,874 人

※両調査の共通項目、主な項目を掲載

問9 今後の就労継続の意向



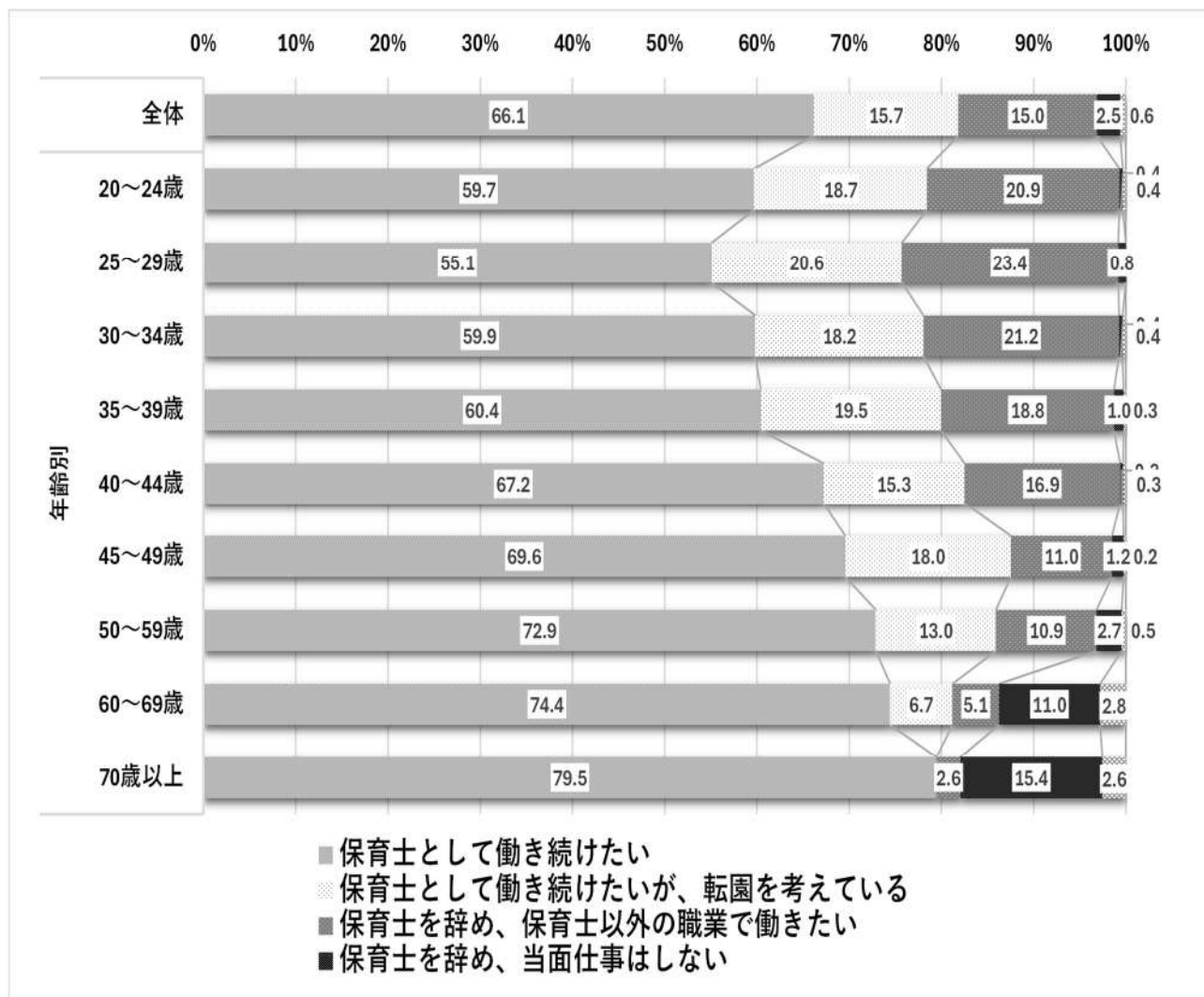
「今後の就労継続の意向」については、「保育士として働きたい」（66.1%）、「保育士として働きたいが、転園を考えている」（15.7%）、「保育士を辞め、保育士以外の職業で働きたい」（15.0%）となった。3割以上の保育士が現在の職場からの退職を考えている結果となった。

平成30年度の前回調査では、「保育士として働きたい」（80.4%）、「保育士を辞め、保育士以外の職業で働きたい」（13.8%）の順であったが、平成30年度は「保育士として働きたいが、転園を考えている」の選択肢はなかったことから、「保育士として働きたい」（80.4%）の中に含まれているものと考えられる。

【前回調査との比較】

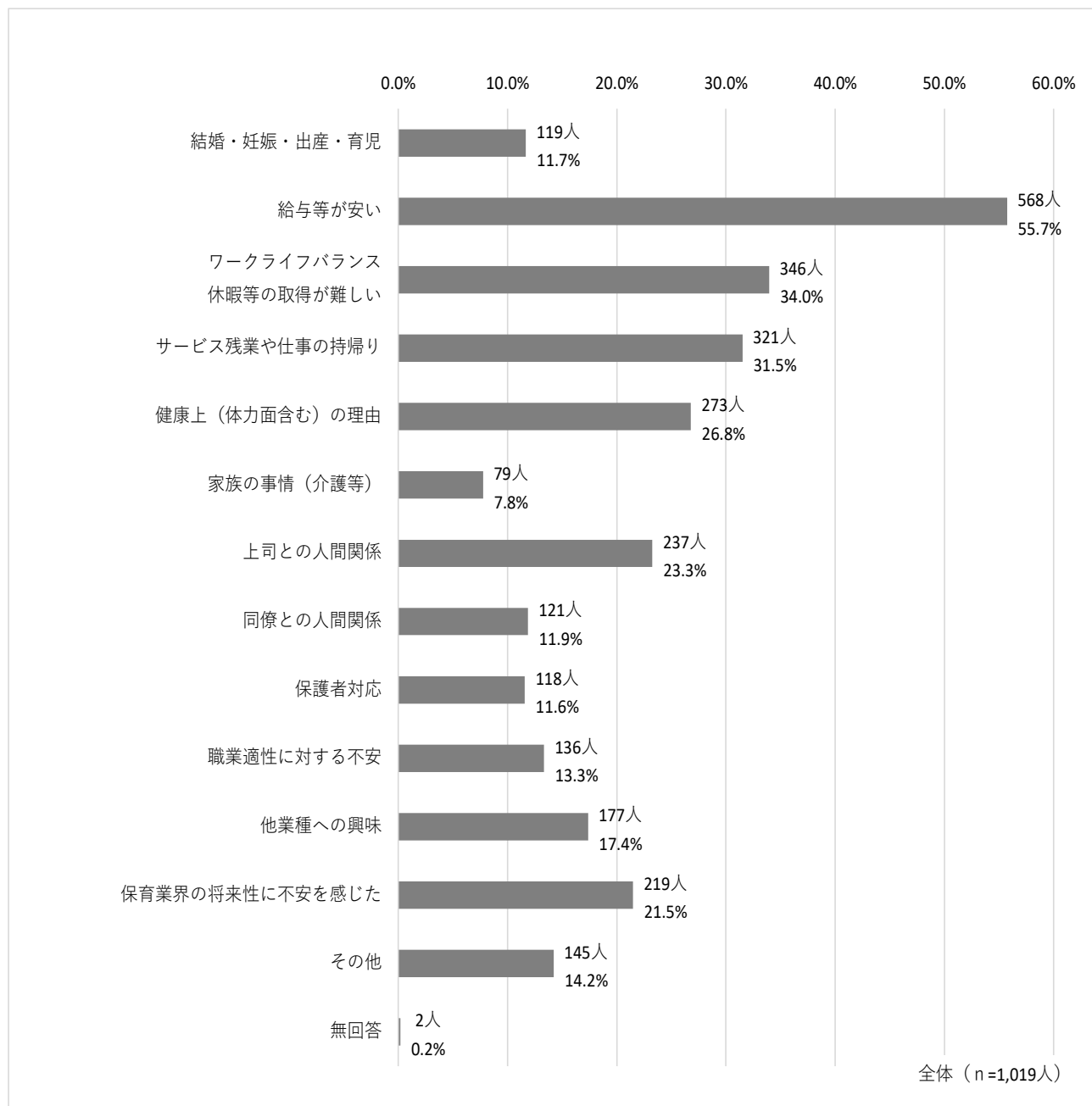
	保育士として働 き続けたい	保育士として働 き続けたいが、 転園を考えてい る	保育士を辞め、 保育士以外の職 業で働きたい	保育士を辞め、 当面仕事はしな い	無回答	合計
今回調査	2,028人 66.1%	481人 15.7%	460人 15.0%	78人 2.5%	19人 0.6%	3,066人 100.0%
H30調査	1,507人 80.4%	（項目なし）	259人 13.8%	42人 2.2%	66人 3.5%	1,874人 100.0%

問9 今後の就労継続の意向＜年齢階層別割合＞



「今後の就労継続の意向」を「年齢階層別」に見ると、20代、30代の階層において、「保育士として働きたいが、転園を考えている」「保育士を辞め、保育士以外の職業で働きたい」と回答した割合が高い。

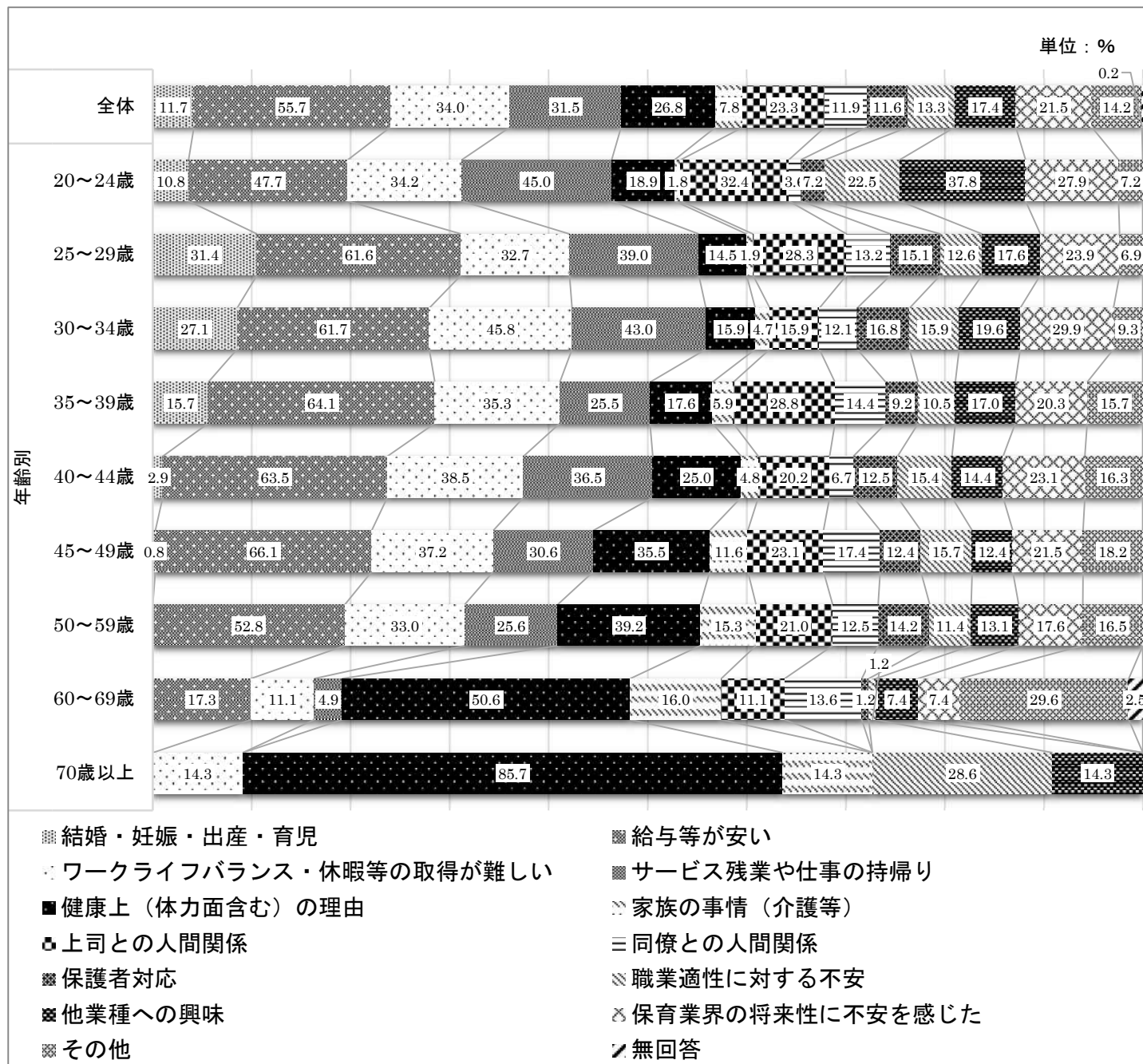
問10 退職（転園）したい理由（複数選択）



「問9 今後の就労継続の意向」で「退職したい」「転園したい」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「給与等が安い」（55.7%）、「ワークライフバランス・休暇等の取得が難しい」（34.0%）、「サービス残業や仕事の持帰り」（31.5%）が上位となった。

「問7 現在の仕事の満足度」「問8 職場で改善してほしい事柄」と同様の傾向であり、改めて、給与等の待遇面の改善、働き方の見直し等が上位となる結果となった。

問 10 退職（転園）したい理由＜年齢階層別割合＞



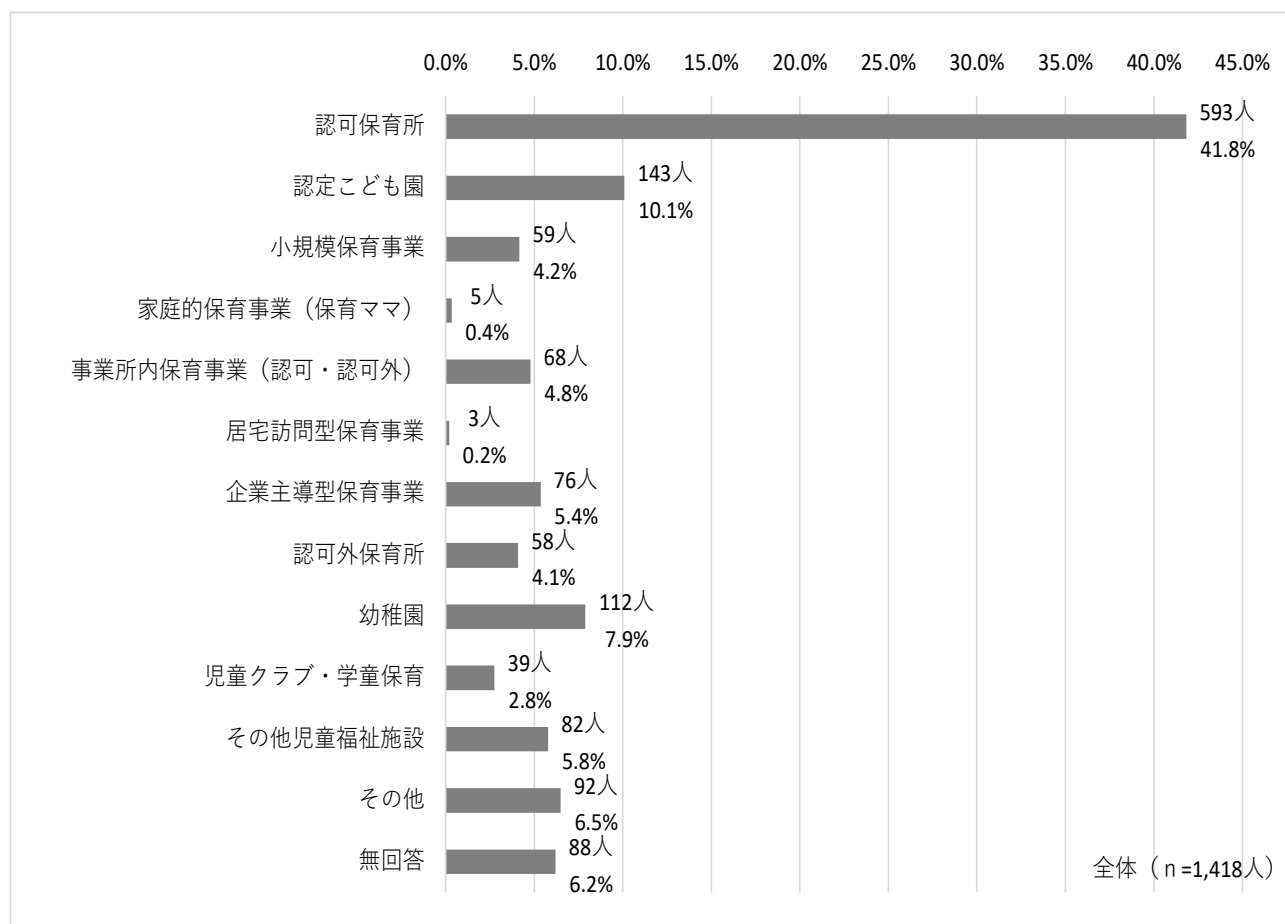
「退職（転園）したい理由」を年齢階層別に見ると、上位の理由は概ねどの階層も同じ傾向にあるが、「20～24 歳」の階層では、「他業種への興味」（37.8%）、「職業適性に対する不安」（22.5%）が他の階層と比べてその割合が大きい。

「25 歳～39 歳」の階層では、「結婚・妊娠・出産・育児」を理由とした割合が他の階層と比べて大きい。

また、40 歳以降の階層では、「健康上（体力面含む）の理由」「家族の事情（介護等）」の割合が高くなっている。

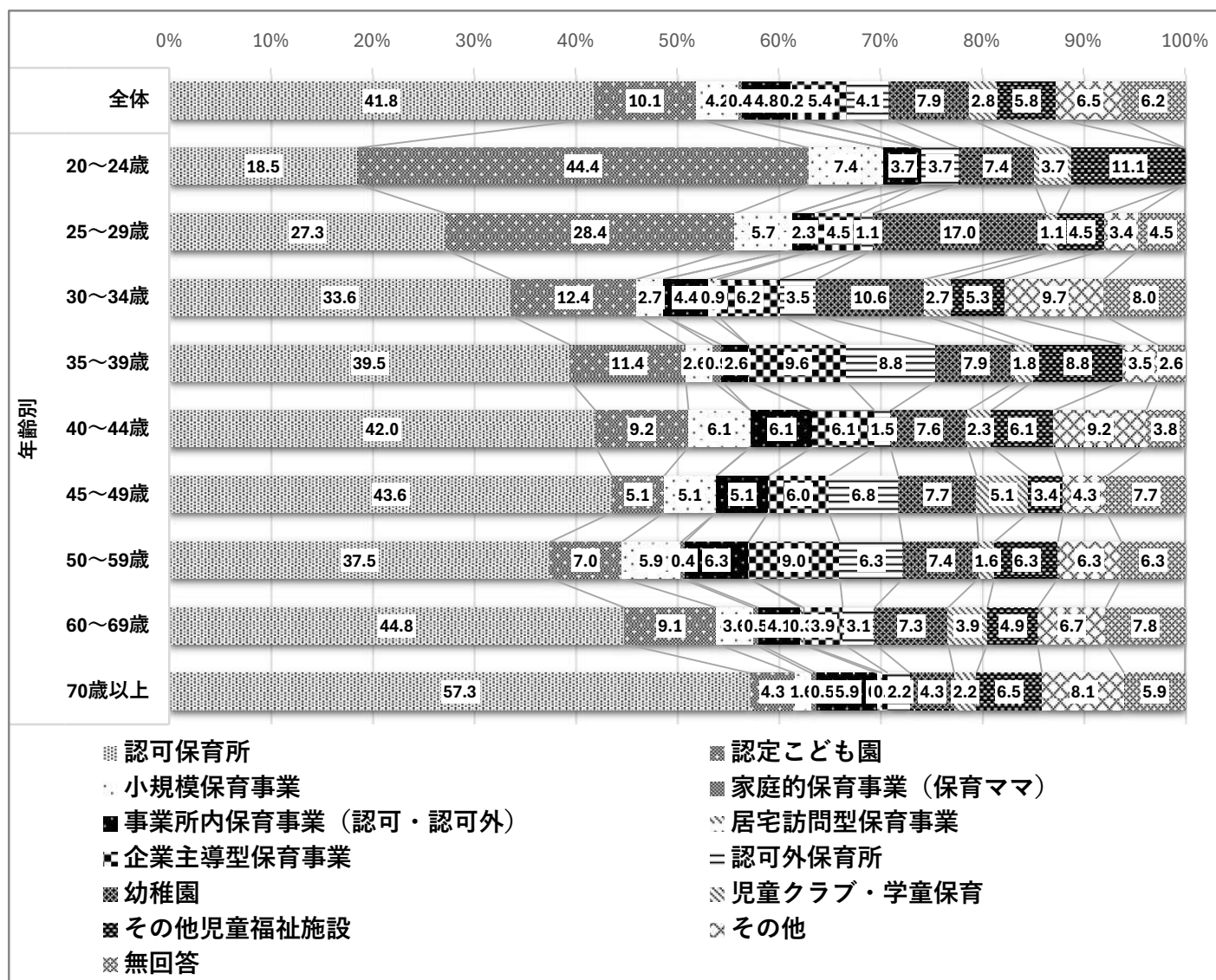
4 過去に保育士として働いたことのある人の状況について

問 11 過去に働いていた施設類型



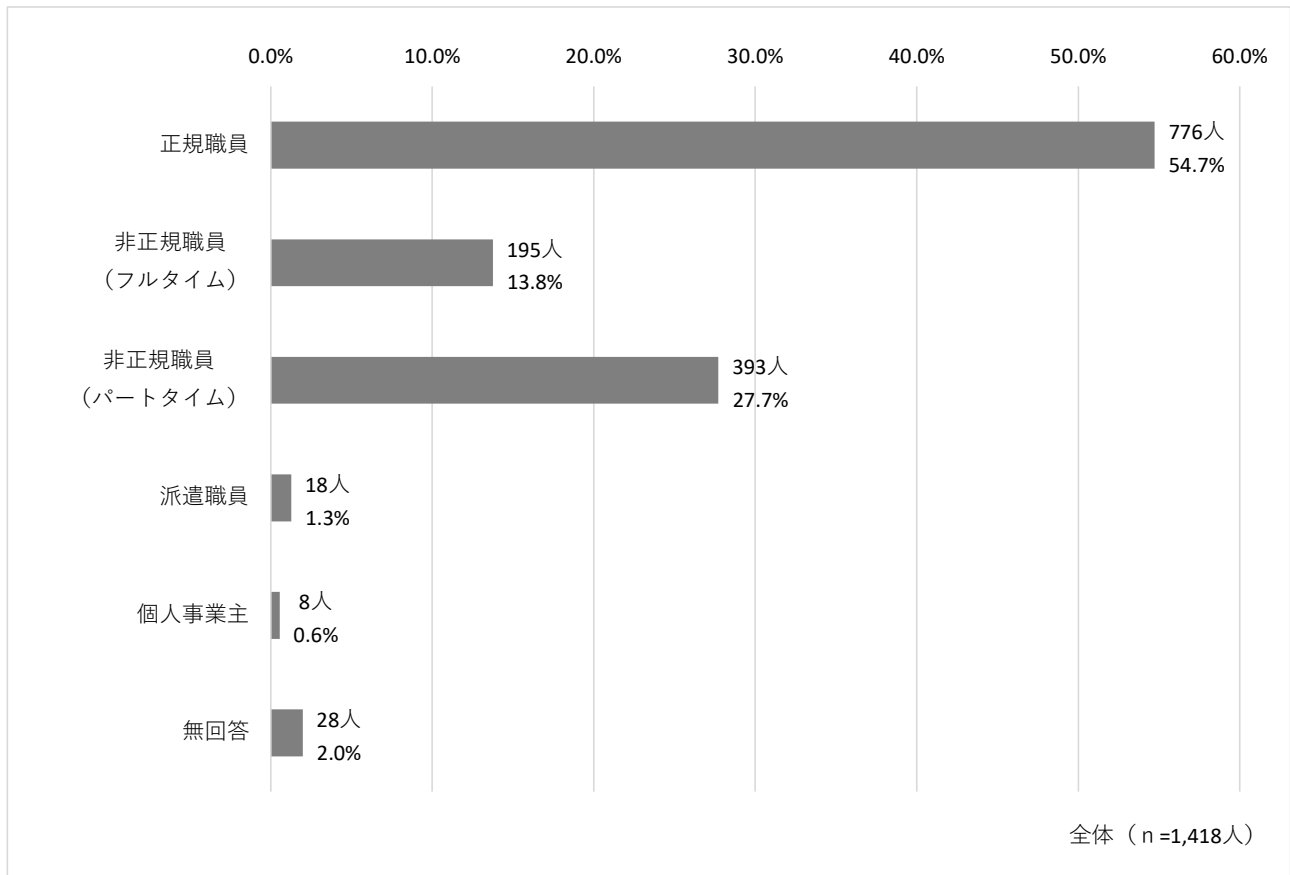
「過去に保育士として働いたことのある人」の「働いていた施設類型」については、「認可保育所（41.8%）」「認定こども園」（10.1%）、「幼稚園」（7.9%）の順となった。

問 11 過去に働いていた施設類型＜年齢階層別割合＞



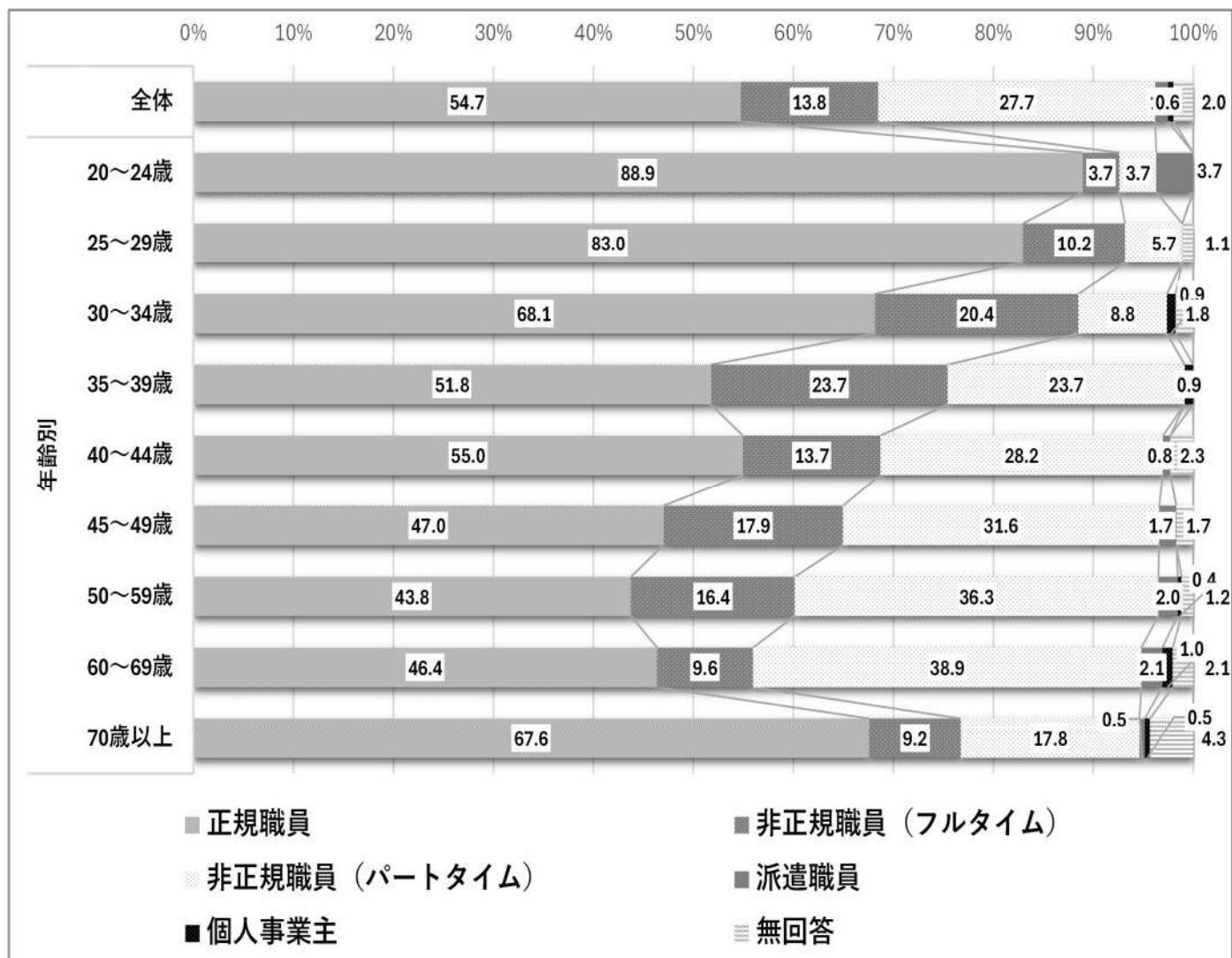
「過去に働いていた施設類型」を年齢階層別に見ると、20代は「認可保育所」の割合が低く、「認定こども園」が高いが、30代以降は「認可保育所」の割合が高く、「認定こども園」が低くなっている。これは、近年、保育所や幼稚園から認定こども園への移行等により、認定こども園が増え、20代の有資格者は、認定こども園で働く職員が増えたことが反映されているものと考えられる。

問 12 過去に保育士として働いたことのある人の雇用形態



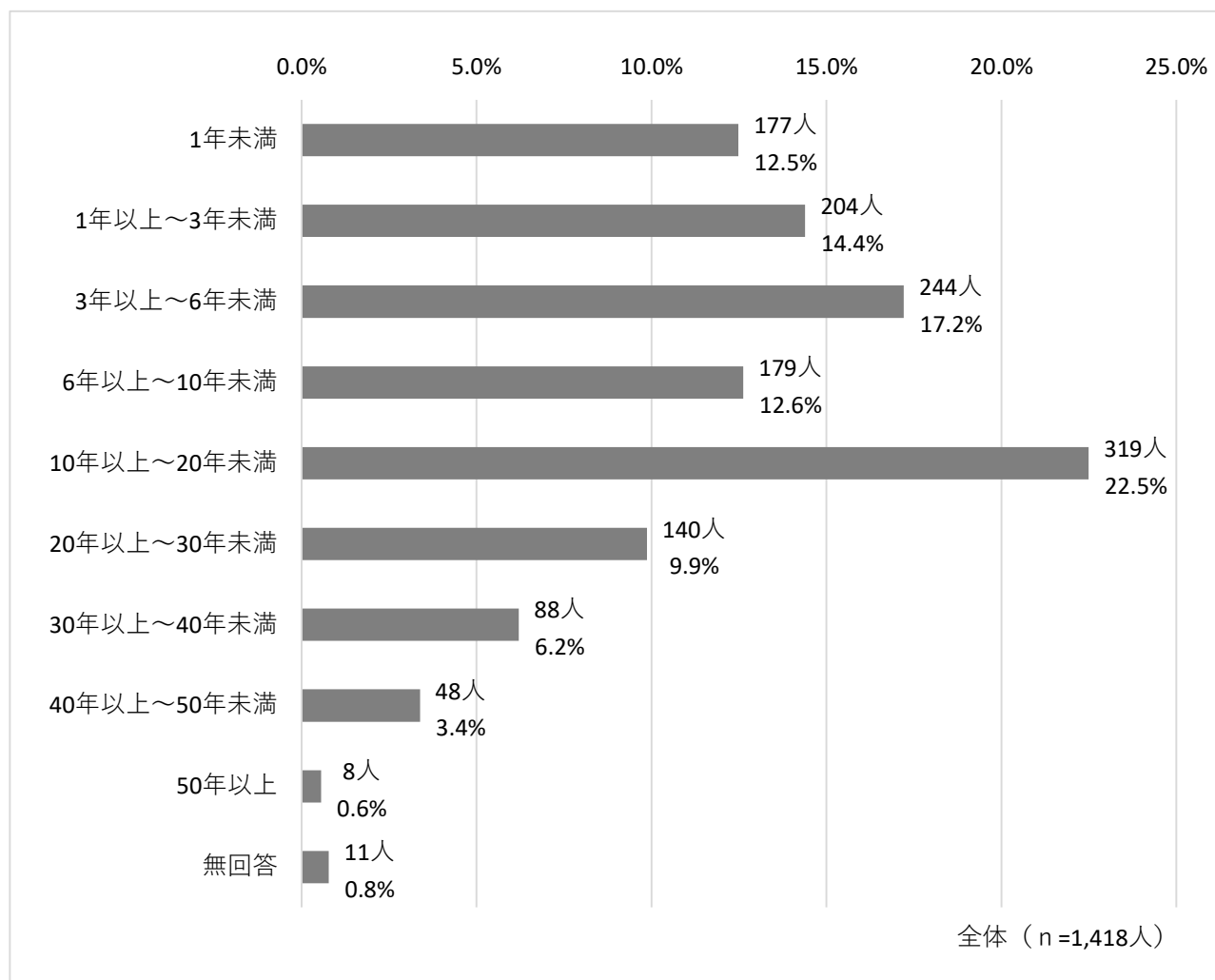
「過去に保育士として働いたことのある人」の雇用形態は、「正規職員」(54.7%)、「非正規職員(パートタイム)」(27.7%)、「非正規職員(フルタイム)」(13.8%)の順となっている。

問 12 過去に保育士として働いたことのある人の雇用形態＜年齢階層別割合＞



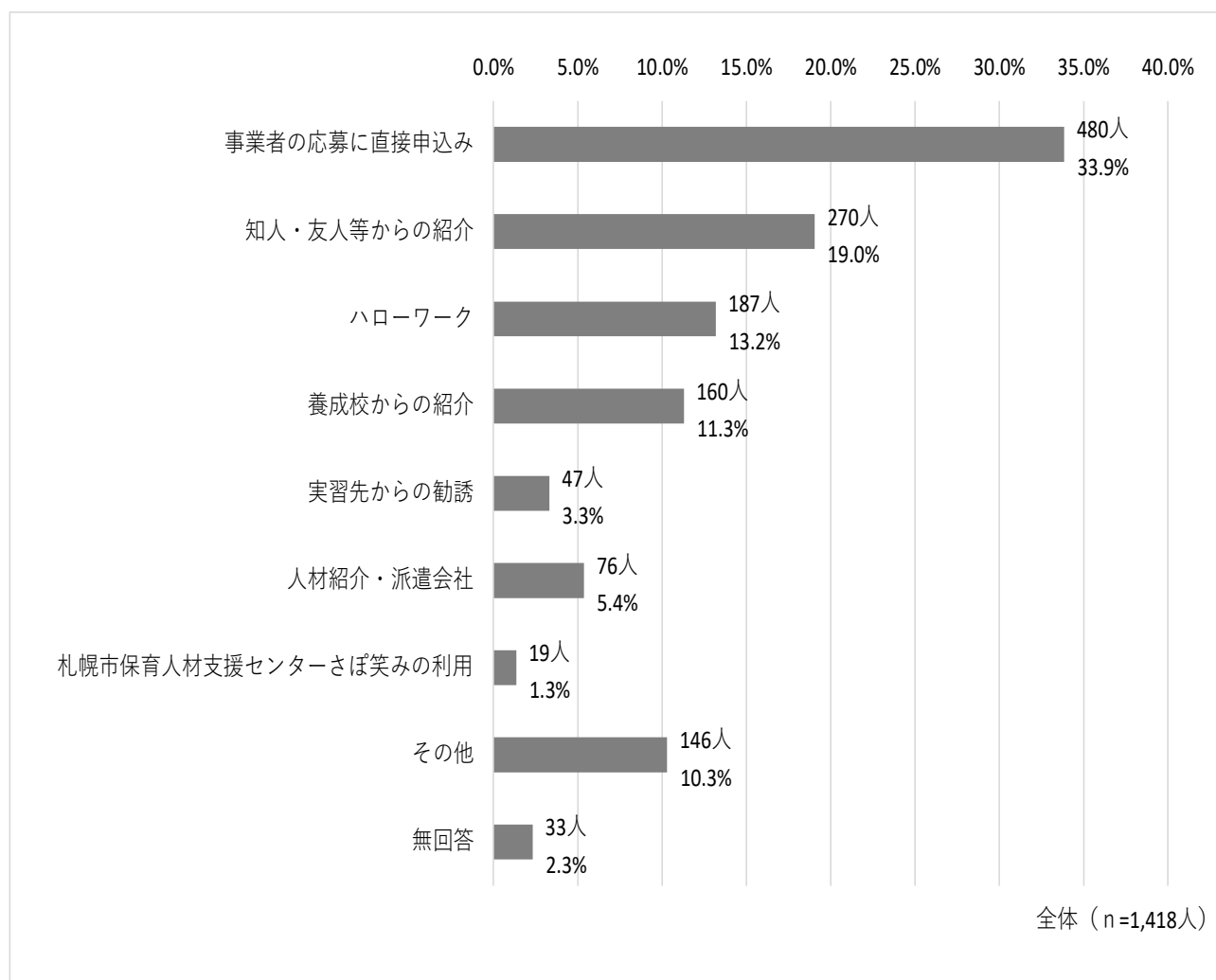
「過去に保育士として働いたことのある人の雇用形態」を年齢階層別にみると、年齢階層が上がるにつれて、「正規職員」の割合が減り、「非正規職員（フルタイム、パートタイム）」の割合が高くなっている。

問 13 保育士をやめてからの期間



「保育士をやめてからの期間」については、「10年以上～20年未満」（22.5%）、「3年以上～6年未満」（17.2%）、「1年以上3年未満」（14.4%）、「6年以上10年未満」（12.6%）、「1年未満」（12.5%）の順となっており、ばらつきが見られるが、離職して10年以上の割合は全体の4割を超えている。

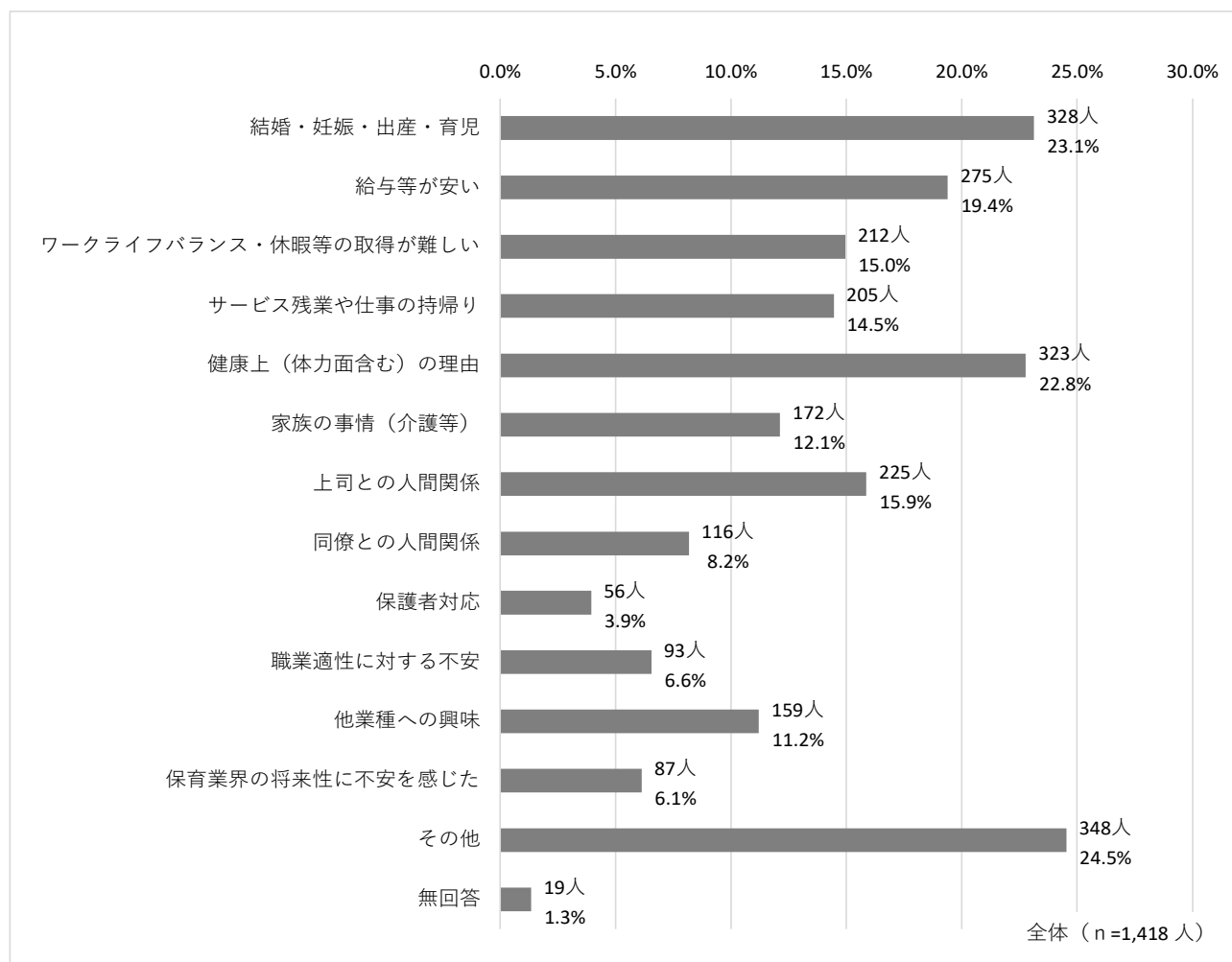
問 14 働いていた施設の就職方法



「過去に働いていた施設の就職方法」は、「事業者の応募に直接申込み」(33.9%)、「知人・友人等からの紹介」(19.0%)、「ハローワーク」(13.2%)の順となった。

「問6 現役保育士の就職方法」と概ね同じ割合だが、現役保育士では「人材紹介・派遣会社」が「10.3%」であることから、「人材紹介・派遣会社」による就職は近年の傾向であることがうかがえる。

問 15 退職した理由（複数選択）



「過去に保育士として働いたことのある人の退職した理由」は、「その他」（24.5%）、「結婚・妊娠・出産・育児」（23.1%）、「健康上（体力面含む）の理由」（22.8%）、「給与等が安い」（19.4%）の順となった。「その他」の理由は、「定年退職」、「雇用期間満了」が最も多かった。

平成30年度の前回調査では、「結婚・妊娠・出産・育児」（63.3%）、「サービス残業や仕事の持帰り」（33.4%）、「給与等が安い」（22.2%）の順となった。

「結婚・妊娠・出産・育児」を理由とした退職はどちらも上位だが、人数・割合は大きく減少している（766人→328人、63.3%→23.1%）。

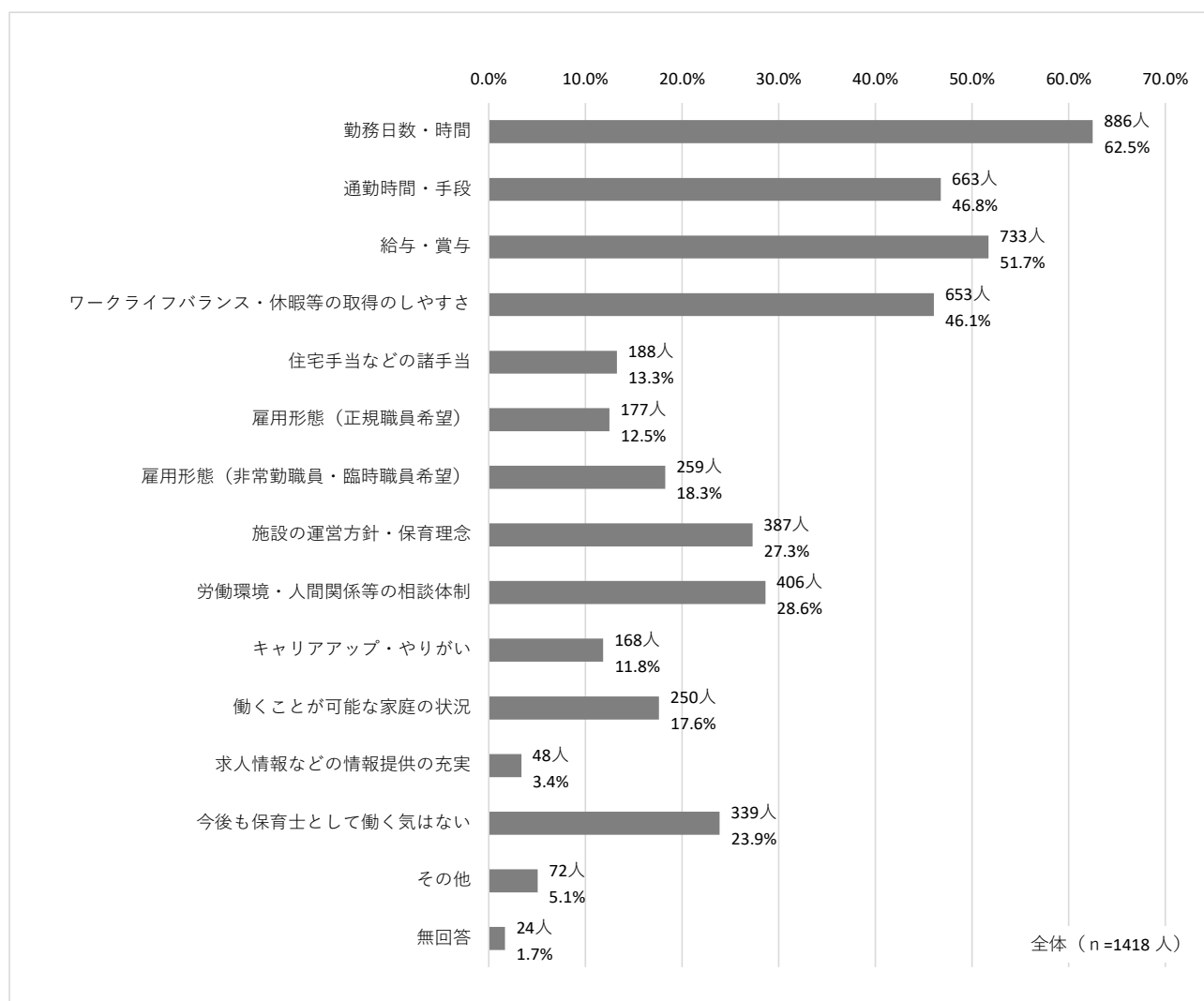
【前回調査との比較】

	結婚・妊娠・出産・育児	給与等が安い	ワークライフバランス・休暇等の取得	サービス残業や仕事の持帰り	健康上（体力面含む）の理由	家族の事情（介護等）	上司との人間関係	同僚との人間関係	保護者対応	他業種への興味
今回調査	328人 23.1%	275人 19.4%	212人 15.0%	205人 14.5%	323人 22.8%	172人 12.1%	225人 15.9%	116人 8.2%	56人 3.9%	159人 11.2%
H30調査	766人 63.3%	269人 22.2%	137人 11.3%	404人 33.4%	231人 19.1%	66人 5.5%	188人 15.6%	91人 7.5%	83人 6.9%	109人 9.0%

※回答者数：今回調査 1,418 人、H30 調査 1,209 人

※両調査の共通項目、主な項目を掲載

問 16 復職するときに重視する条件（複数選択）



「過去に保育士として働いたことのある人の復職するときに重視する条件」は、「勤務日数・時間」（62.5%）、「給与・賞与」（51.7%）、「通勤時間・手段」（46.8%）、「ワークライフバランス・休暇等の取得のしやすさ」（46.1%）の順となった。この設問においても、給与等の待遇面の改善、働き方の見直し等が重視される結果となった。

平成30年度の前回調査との比較では、「給与・賞与」を重視する人数・割合が大きく増加している（385人→733人、31.8%→51.7%）。

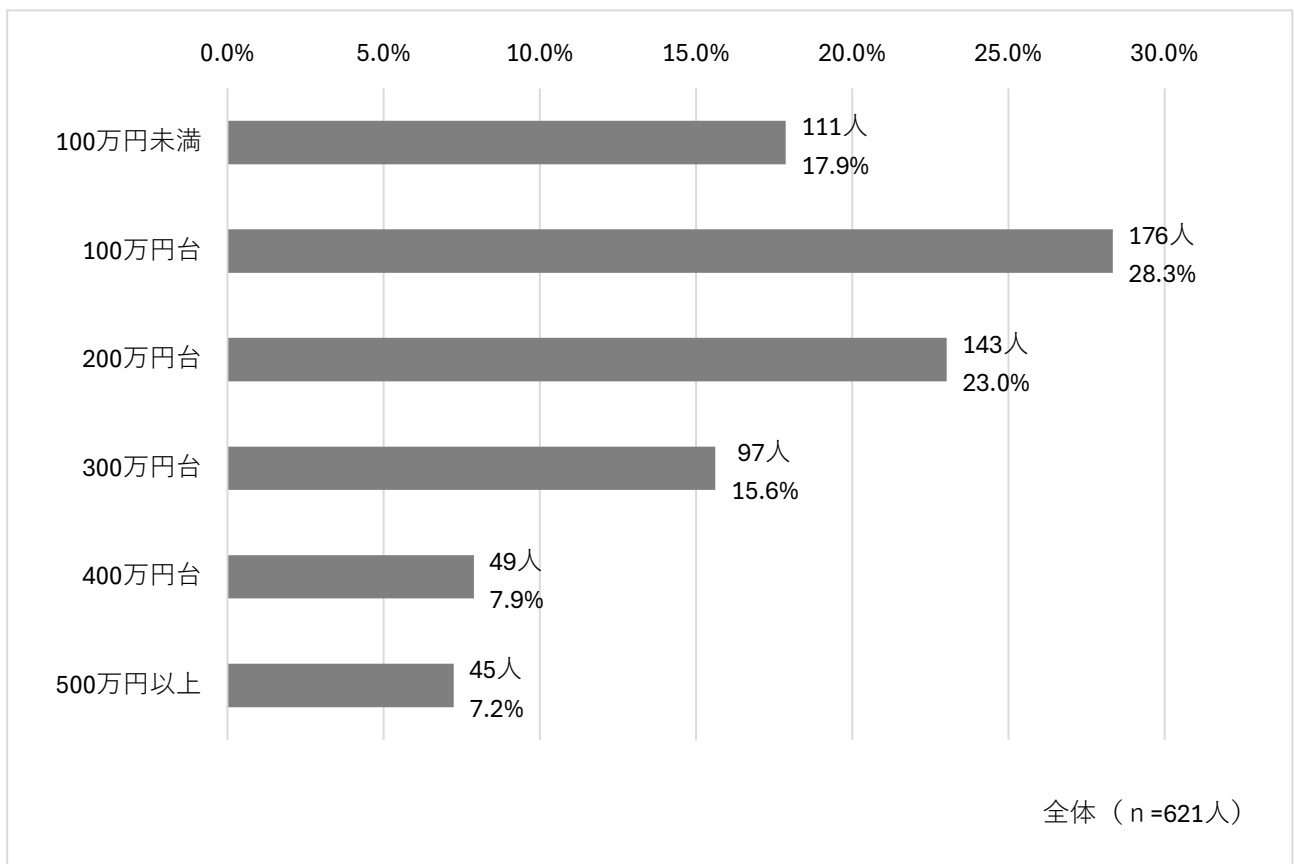
【前回調査との比較】

	勤務日数・時間	通勤時間・手段	給与・賞与	ワークライフバランス・休暇等の取得のしやすさ	住宅手当などの諸手当	雇用形態（正規職員希望）	雇用形態（非常勤職員・臨時職員希望）	施設の運営方針・保育理念	労働環境・人間関係等の相談体制	働くことが可能な家庭の状況
今回調査	886人 62.5%	663人 46.8%	733人 51.7%	653人 46.1%	188人 13.3%	177人 12.5%	259人 18.3%	387人 27.3%	406人 28.6%	250人 17.6%
H30調査	905人 74.9%	532人 44.0%	385人 31.8%	項目なし	項目なし	213人 17.6%	553人 45.7%	234人 19.4%	340人 28.1%	244人 20.2%

※回答者数：今回調査 1,418 人、H30 調査 1,209 人

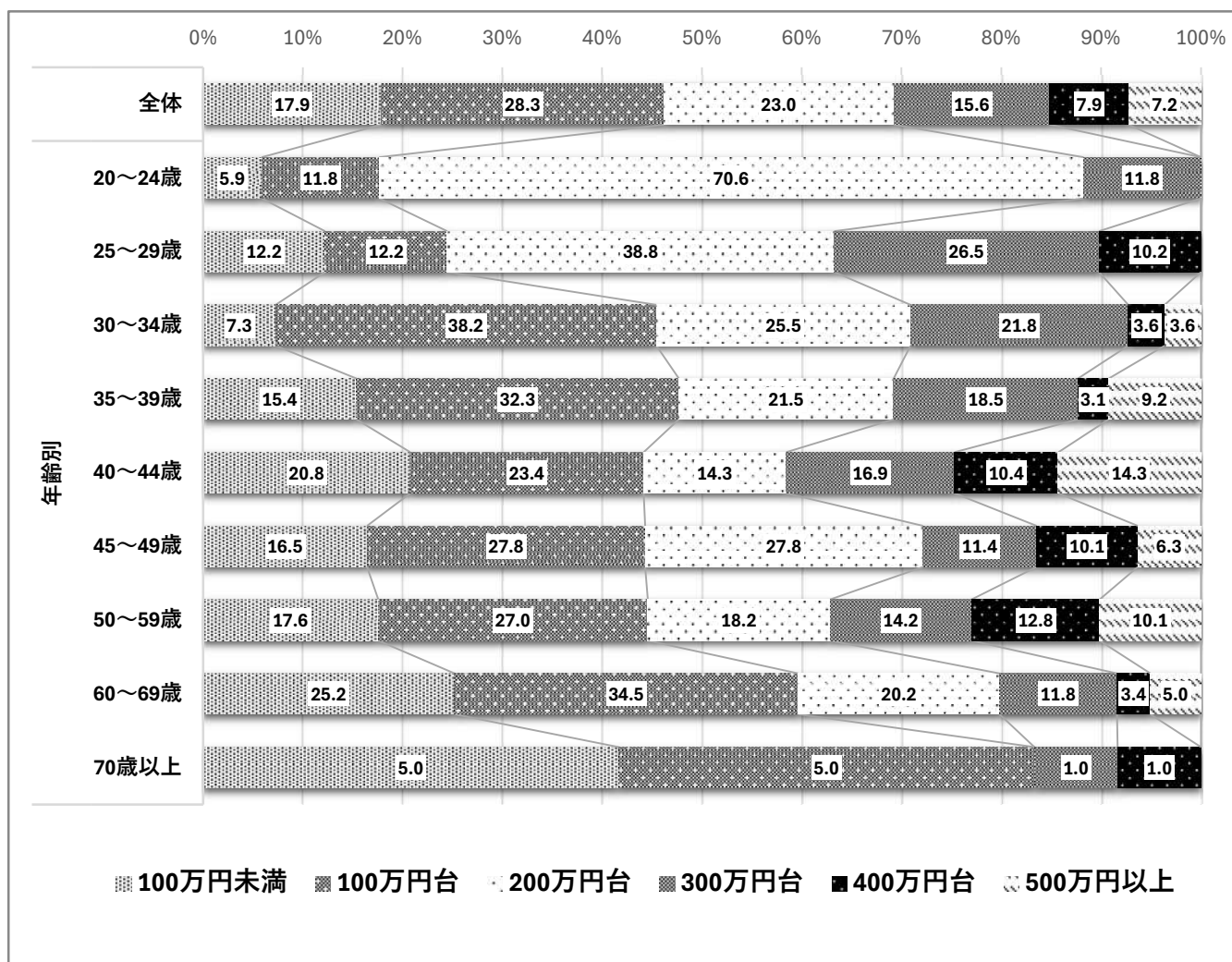
※両調査の共通項目、主な項目を掲載

問 17 保育士以外の仕事で働いている人の年収



「過去に保育士として働いたことのある人」のうち「保育士以外の仕事で働いている人」に対し、令和5年の年収を尋ねたところ、「100万円台」（28.3%）、「200万円台」（23.0%）、「100万円未満」（17.9%）の順となった。

問 17 保育士以外の仕事で働いている人の年収（保育士経験有）＜年齢階層別割合＞

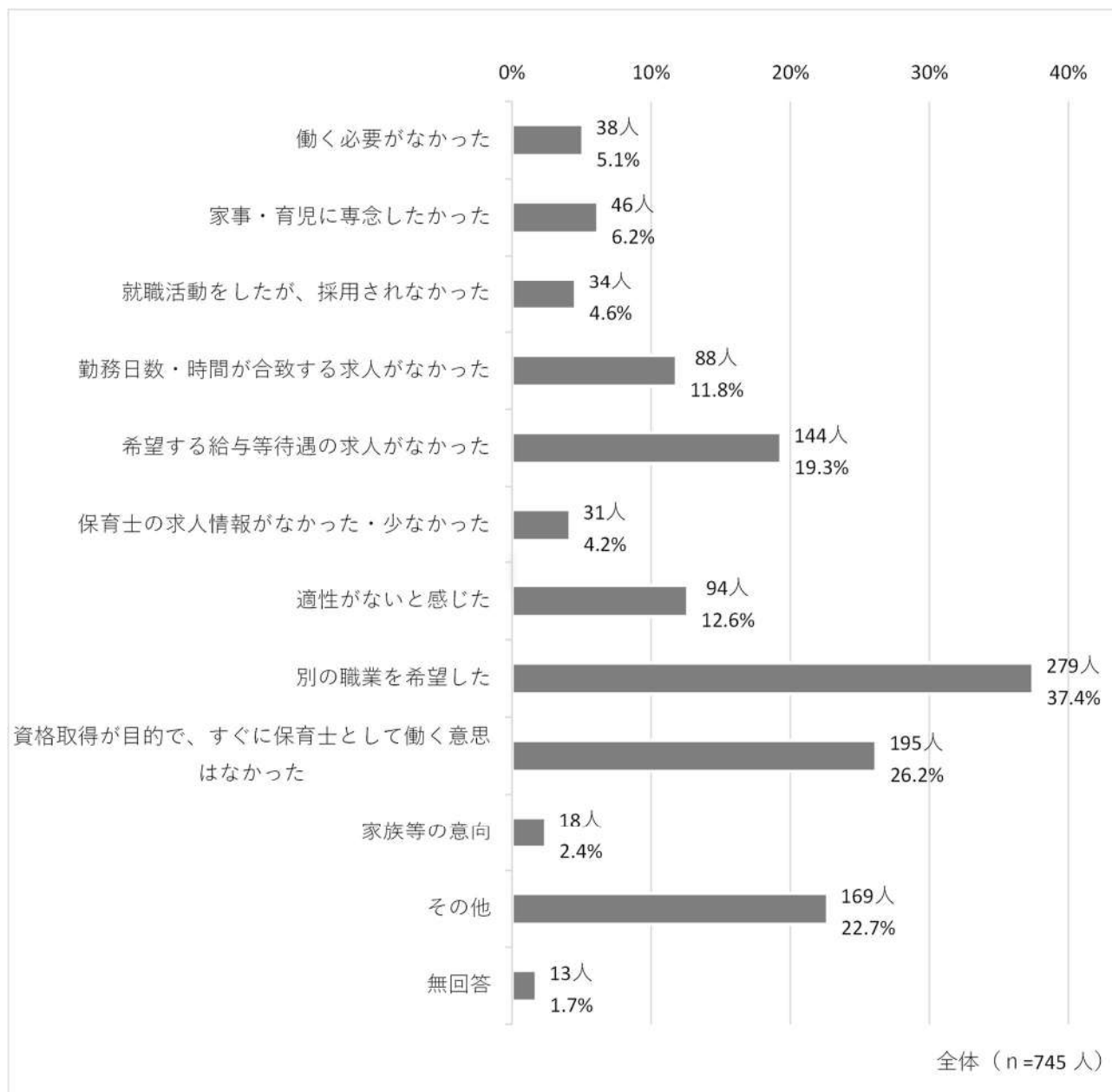


＜年齢階層別平均年収＞

平均年収		単位：万円
全体		231.6
年齢別	20～24歳	224.6
	25～29歳	244.8
	30～34歳	213.4
	35～39歳	233.5
	40～44歳	259.5
	45～49歳	239.6
	50～59歳	253.4
	60～69歳	193.7
	70歳以上	136.3

5 過去に保育士として働いたことのない人の状況について

問 18 保育士として働かなかった理由（複数選択）



「過去に保育士として働いたことのない人」の「保育士として働かなかった理由」を尋ねたところ、「別の職業を希望した」（37.4%）、「資格取得が目的で、すぐに保育士として働く意思はなかった」（26.2%）、「その他」（22.7%）、「希望する給与等待遇の求人がなかった」（19.3%）、「勤務日数・時間が合致する求人がなかった」（11.8%）の順となった。

「その他」の理由には、「幼稚園で働いている、または働いていた」という回答が最も多く、次いで「進学等のため」、「体力面などに不安を感じて」といったものが多かった。

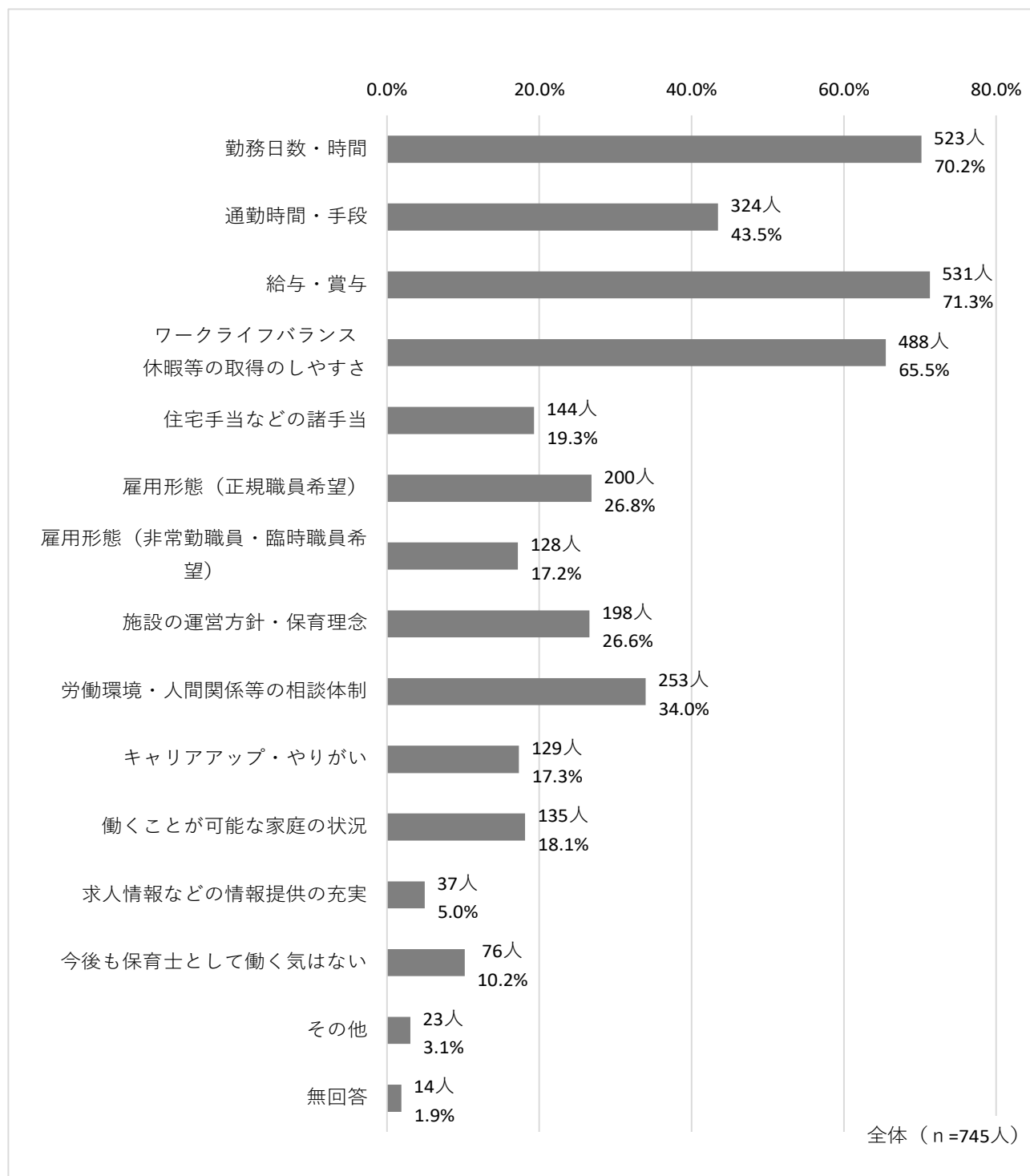
問 18 保育士として働かなかった理由＜資格取得方法別人数＞

			合計	働く必要がなかった	家事・育児に専念したかった	就職活動をしたが、採用されなかった	勤務日数・時間が合致する求人がなかった	希望する給与待遇の求人がなかった	保育士の求人情報がなかった・少なかった	適性がないと感じた	別の職業を希望した	資格取得が目的で、すぐに保育士として働く意思はなかった	家族等の意向	その他	無回答
取得方法	全体	人数	745	38	46	34	88	144	31	94	279	195	18	169	13
		割合(%)	100.0	5.1	6.2	4.6	11.8	19.3	4.2	12.6	37.4	26.2	2.4	22.7	1.7
	専門学校の保育士養成課程	人数	81	1	2	7	6	18	9	22	32	8	2	15	1
		割合(%)	100.0	1.2	2.5	8.6	7.4	22.2	11.1	27.2	39.5	9.9	2.5	18.5	1.2
	短期大学の保育士養成課程	人数	202	6	11	17	17	30	15	41	109	15	4	45	6
		割合(%)	100.0	3.0	5.4	8.4	8.4	14.9	7.4	20.3	54.0	7.4	2.0	22.3	3.0
	大学の保育士養成課程	人数	69	1	3	3	3	17	1	15	33	6	0	17	2
		割合(%)	100.0	1.4	4.3	4.3	4.3	24.6	1.4	21.7	47.8	8.7	0.0	24.6	2.9
取得方法	その他の養成施設の保育士養成課程	人数	38	3	1	0	1	6	1	1	15	9	1	11	1
		割合(%)	100.0	7.9	2.6	0.0	2.6	15.8	2.6	2.6	39.5	23.7	2.6	28.9	2.6
	保育士試験	人数	353	27	29	6	60	73	5	15	90	157	11	80	3
		割合(%)	100.0	7.6	8.2	1.7	17.0	20.7	1.4	4.2	25.5	44.5	3.1	22.7	0.8
取得方法	無回答	人数	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
		割合(%)	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

「保育士として働かなかった理由」を「保育士資格の取得方法別」でみると、「大学」「短期大学」を経て資格を取得した人は、「別の職業を希望した」（47.8%、54.0%）割合が最も高く、他の取得方法よりもその割合が高かった。

「保育士試験」で保育士資格を取得した人は、「資格取得が目的で、すぐに保育士として働く意思はなかった」（44.5%）が最も高かった。

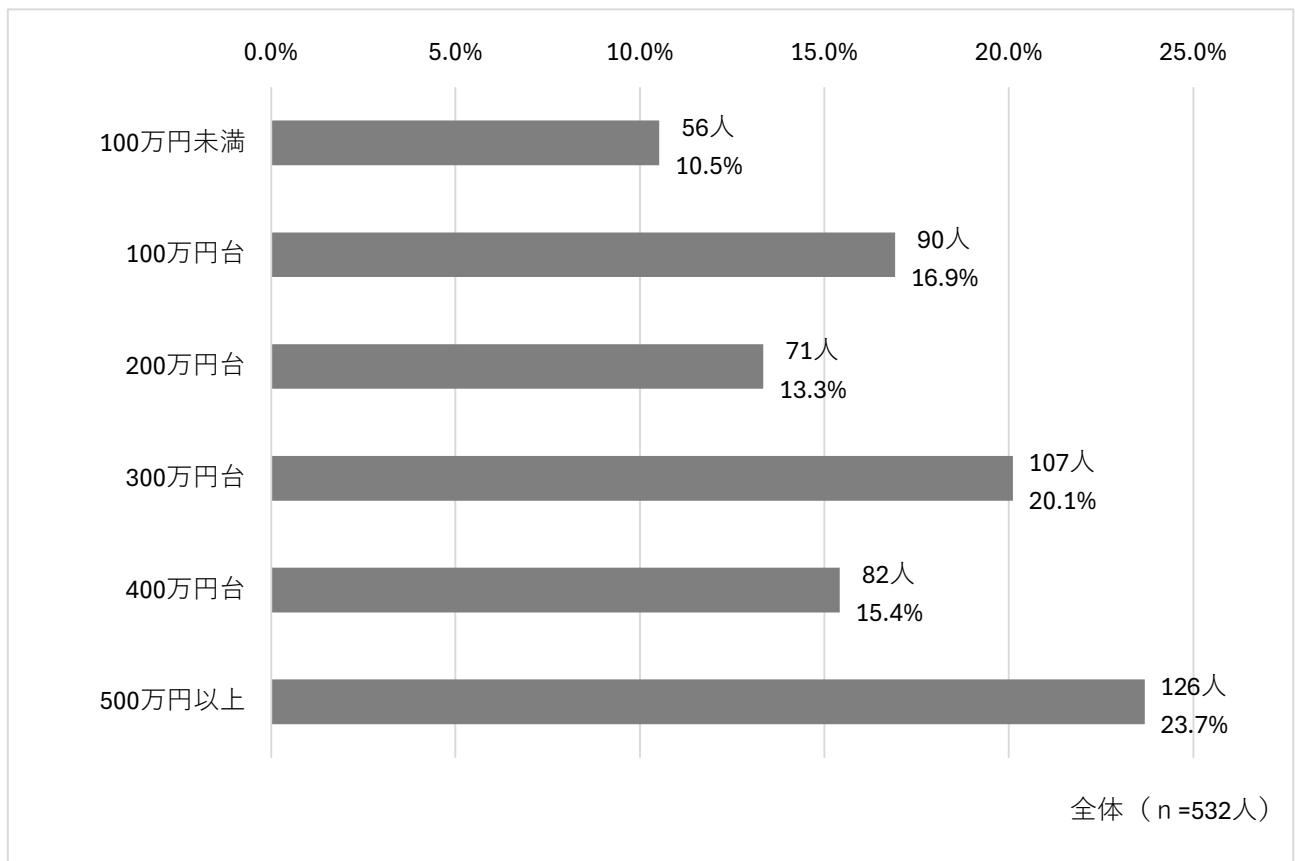
問 19 保育士として働くこととした場合に重視する条件（複数選択）



「過去に保育士として働いたことのない人」が「保育士として働くこととした場合に重視する条件」を尋ねたところ、「給与・賞与」（71.3%）、「勤務日数・時間」（70.2%）、「ワークライフバランス・休暇等の取得のしやすさ」（65.5%）、「通勤時間・手段」（43.5%）、の順となった。

「問 16」において、「過去に保育士として働いたことのある人の復職条件」では、「勤務日数・時間」（62.5%）、「給与・賞与」（51.7%）、「通勤時間・手段」（46.8%）、「ワークライフバランス・休暇等の取得のしやすさ」（46.1%）の順となっており、順位と割合に差はあるものの、重視する項目は同様である。

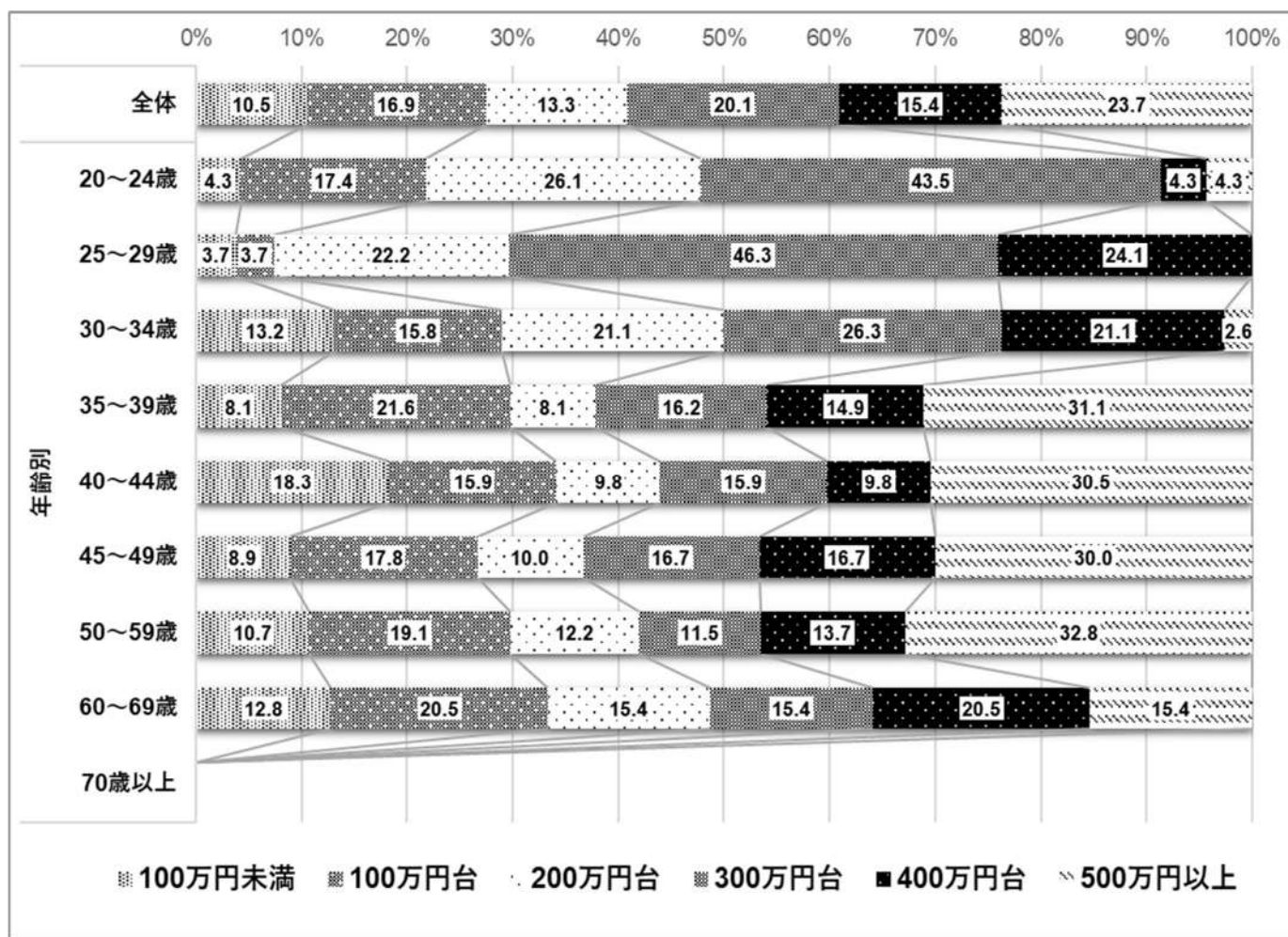
問 20 保育士以外の仕事で働いている人の年収



「過去に保育士として働いたことのない人」のうち「保育士以外の仕事で働いている人」に対し、令和5年の年収を尋ねたところ、「500万円以上」（23.7%）、「300万円台」（20.1%）、「100万円台」（16.9%）の順となった。

「問17」の「保育士以外の仕事で働いている人の年収（保育士経験有）」では、「500万円以上」は「7.2%」であり、大きな差が生じている。

問 20 保育士以外の仕事で働いている人の年収（保育士経験無）＜年齢階層別割合＞



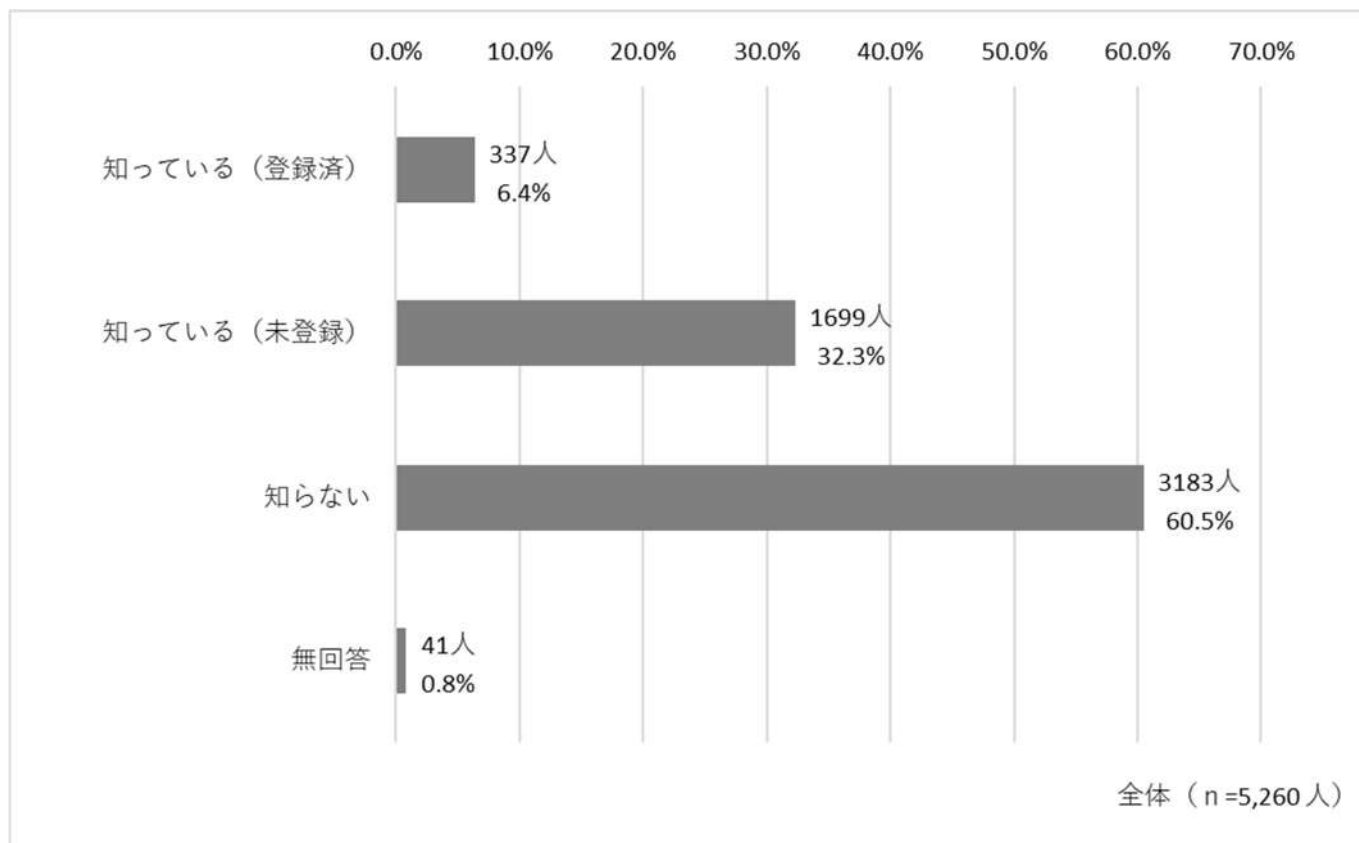
「保育士以外の仕事で働いている人の年収（保育士経験無）」を年齢階層別に見ると、35 歳以上の階層において、「500 万円以上」の割合が高い。

＜年齢階層別平均年収＞

平均年収		単位：万円
全体		345.0
年齢別	20～24歳	270.2
	25～29歳	316.4
	30～34歳	268.9
	35～39歳	363.4
	40～44歳	334.5
	45～49歳	380.3
	50～59歳	372.8
	60～69歳	315.6
	70歳以上	—

6 「さぼ笑み」について

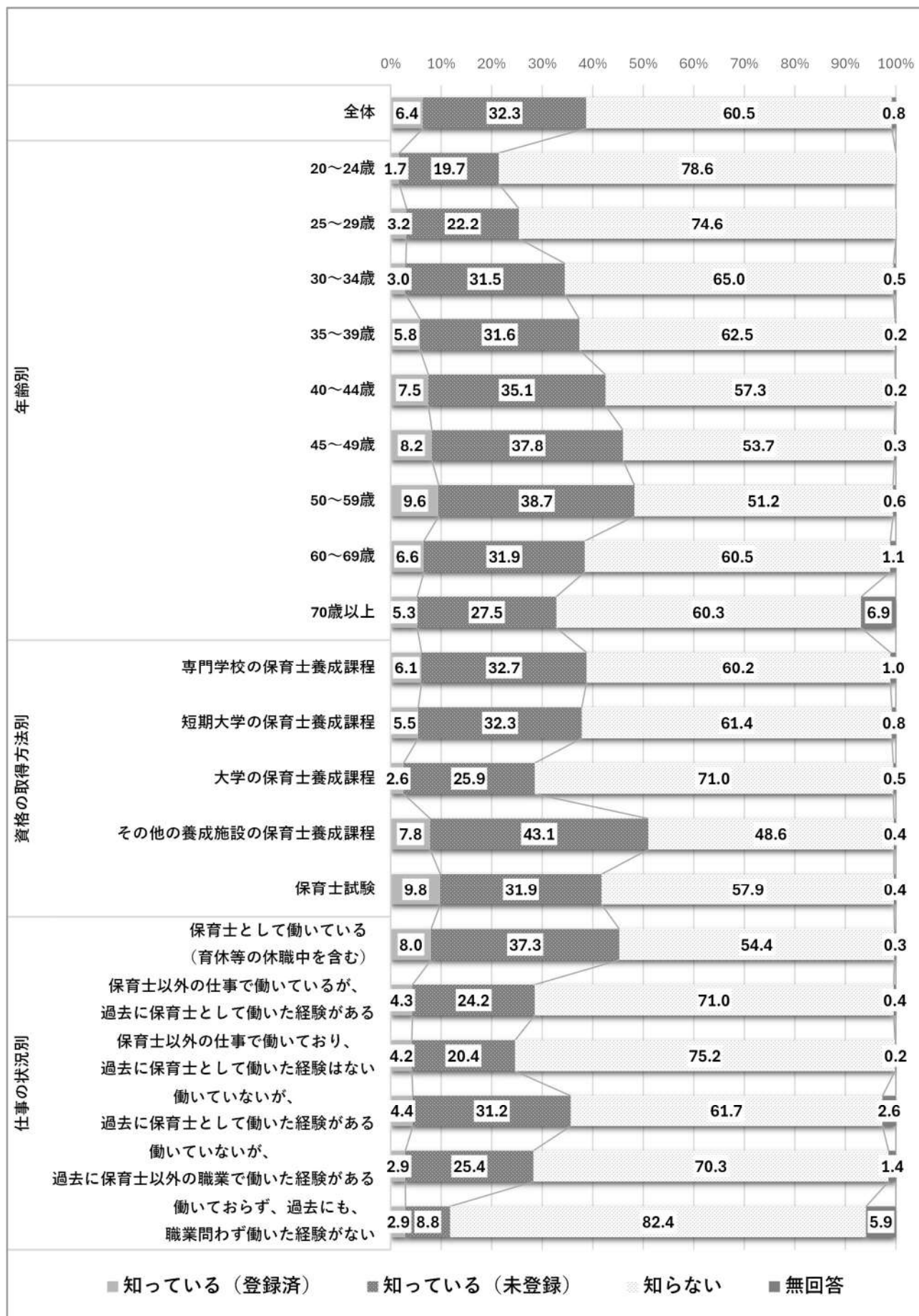
問 21 「さぼ笑み」の認知度



札幌市が運営する、保育士等の求職者と保育施設のマッチング支援を行う「札幌市保育人材支援センター さぼ笑み」の認知度については、「知っている」が（合計 38.7%）、「知らない」が（60.5%）であった。

平成 30 年度の前回調査では、「知っている」が（24.7%）、「知らない」が（67.2%）であり、（24.7%→38.7%）と上昇している。

問 21 「さぽ笑み」の認知度＜年齢階層別等＞



さぼ笑みの認知度について、年齢階層別に見ると、年代が上がるにつれて、「知っている」と回答した割合が高くなるが、20～29歳の認知度が低い。

資格の取得方法別に見ると、大学の保育士養成課程での認知度が低い（「知っている」は28.5%）。

現在の仕事の状況別では、過去に保育士として働いたことのない人の認知度が低い傾向にあるが、現役保育士でも、「知っている」割合は半数に満たない。

7 調査票

調 査 票

皆さんにおたずねします。

問 1 あなたの年齢を教えてください。

年齢	1	20～24 歳	2	25～29 歳	3	30～34 歳
	4	35～39 歳	5	40～44 歳	6	45～49 歳
	7	50～59 歳	8	60～69 歳	9	70 歳以上

問 2 保育士資格の取得方法を教えてください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 専門学校の保育士養成課程 | 2 短期大学の保育士養成課程 |
| 3 大学の保育士養成課程 | 4 その他の養成施設の保育士養成課程 |
| 5 保育士試験 | |

問 3 現在のお仕事の状況を教えてください。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1 保育士として働いている（育休等の休職中を含む）⇒問 4 へ |
| 2 保育士以外の仕事で働いているが、過去に保育士として働いた経験がある⇒問 11 へ |
| 3 保育士以外の仕事で働いており、過去に保育士として働いた経験はない⇒問 18 へ |
| 4 働いていないが、過去に保育士として働いた経験がある⇒問 11 へ |
| 5 働いていないが、過去に保育士以外の職業で働いた経験がある⇒問 18 へ |
| 6 働いておらず、過去にも、職業問わず働いた経験がない⇒問 18 へ |

保育士として働いている方におたずねします。⇒他の方は問 11 または問 18 へ

問 4 現在働いている施設の施設類型を教えてください。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------------|
| 1 認可保育所 | 2 認定こども園 | 3 小規模保育事業 |
| 4 家庭的保育事業（保育ママ） | 5 事業所内保育事業（認可・認可外） | 6 居宅訪問型保育事業 |
| 7 企業主導型保育事業 | 8 認可外保育所 | 9 幼稚園 |
| 10 児童クラブ・学童保育 | 11 その他児童福祉施設 | |
| 12 その他（ | | ） |

問 5 現在の雇用形態を教えてください。（○は1つ）

- | | | |
|--------|----------------|-----------------|
| 1 正規職員 | 2 非正規職員（フルタイム） | 3 非正規職員（パートタイム） |
| 4 派遣職員 | 5 個人事業主 | |

問 6 現在働いている施設への就職方法を教えてください。（○は1つ）

- | | | |
|------------------------|---------------|-------------|
| 1 事業者の応募に直接申込み | 2 知人・友人等からの紹介 | 3 ハローワーク |
| 4 養成校からの紹介 | 5 実習先からの勧誘 | 6 人材紹介・派遣会社 |
| 7 札幌市保育人材支援センターさぼ笑みの利用 | | |
| 8 その他（ | | ） |

問 7 現在の仕事の満足度を項目ごとに選択してください。（○は1つずつ）

項 目	満 足	やや 満 足	どちら とも言 えない	やや 不 満	不 満
勤務日数・時間	1	2	3	4	5
給与・賞与	1	2	3	4	5
住宅手当などの諸手当	1	2	3	4	5
ワークライフバランス・休暇等の取得のし易さ	1	2	3	4	5
上司との人間関係	1	2	3	4	5
同僚との人間関係	1	2	3	4	5

保護者対応	1	2	3	4	5
施設の運営方針・保育理念	1	2	3	4	5
施設の人員体制（職員数など）	1	2	3	4	5
園長などからのあなたへの人事評価	1	2	3	4	5
保育士としての仕事の「やりがい」	1	2	3	4	5

問 8 現在働いている施設で改善してほしい事柄を教えてください。（○はいくつでも）

1 勤務日数・時間	2 給与・賞与等	3 ワークライフバランス・休暇等の取得のし易さ
4 職員の増員	5 雇用の安定化（正職員登用等）	6 研修機会の充実
7 職場の人間関係	8 施設の運営方針・保育理念	9 保護者への対応
10 人事評価制度	11 サービス残業や持帰り	
12 事務・雑務の軽減		
13 その他（		）

問 9 あなたは、今後も保育士として働きたいと思っていますか。（○は1つ）

- 1 保育士として働きたい⇒問 21 へ
- 2 保育士として働きたいが、転園を考えている⇒問 10 へ
- 3 保育士を辞め、保育士以外の職業で働きたい⇒問 10 へ
- 4 保育士を辞め、当面仕事はしない⇒問 10 へ

問 10 保育士の仕事を退職したい（転園したい）理由を教えてください。（○はいくつでも）

1 結婚・妊娠・出産・育児	2 給与等が安い	3 ワークライフバランス・休暇等の取得が難しい
4 サービス残業や仕事の持帰り	5 健康上（体力面含む）の理由	6 同僚との人間関係
7 家族の事情（介護等）	8 上司との人間関係	9 他業種への興味
10 保護者対応	11 職業適性に対する不安	
12 保育業界の将来性に不安を感じた		
13 その他（		）

⇒問 21 へ

過去に保育士として働いたことのある方におたずねします。

問 11 過去に保育士として働いていた施設類型を教えてください。複数の施設で働いていた方は最後に働いていた施設についてお答えください。（○は1つ）

1 認可保育所	2 認定こども園	3 小規模保育事業
4 家庭的保育事業（保育ママ）	5 事業所内保育事業（認可・認可外）	6 居宅訪問型保育事業
7 企業主導型保育事業	8 認可外保育所	9 幼稚園
10 児童クラブ・学童保育	11 その他児童福祉施設	
12 その他（		）

問 12 保育士として働いていたときの雇用形態を教えてください。複数の施設で働いていた方は最後に働いていた施設についてお答えください。（○は1つ）

1 正規職員	2 非正規職員（フルタイム）	3 非正規職員（パートタイム）
4 派遣職員	5 個人事業主	

問 13 保育士の仕事を辞めて何年になりますか。（回答日時点の年数。月数は切り捨て。退職してから1年未満の方は「0」としてください）

年

問 14 働いていた施設の就職方法を教えてください。複数の施設で働いていた方は最後に働いていた施設についてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------------------|---------------|-------------|
| 1 事業者の応募に直接申込み | 2 知人・友人等からの紹介 | 3 ハローワーク |
| 4 養成校からの紹介 | 5 実習先からの勧誘 | 6 人材紹介・派遣会社 |
| 7 札幌市保育人材支援センターさぼ笑みの利用 | | |
| 8 その他 (| |) |

問 15 保育士の仕事を退職した理由を教えてください。複数の施設で働いていた方は最後に働いていた施設についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|-----------------|---------------|
| 1 結婚・妊娠・出産・育児 | 2 給与等が安い | 3 ワークライフバランス・ |
| 4 サービス残業や仕事の持帰り | 5 健康上(体力面含む)の理由 | 休暇等の取得が難しい |
| 6 家族の事情(介護等) | 7 上司との人間関係 | 8 同僚との人間関係 |
| 9 保護者対応 | 10 職業適性に対する不安 | 11 他業種への興味 |
| 12 保育業界の将来性に不安を感じた | | |
| 13 その他 (| |) |

問 16 あなたがもし保育士として働くこととした場合に重視する条件を教えてください(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 勤務日数・時間 | 2 通勤時間・手段 |
| 3 給与・賞与 | 4 ワークライフバランス・休暇等の取得のしやすさ |
| 5 住宅手当などの諸手当 | 6 雇用形態(非常勤職員・臨時職員希望) |
| 7 雇用形態(正規職員希望) | 8 労働環境・人間関係等の相談体制 |
| 9 施設の運営方針・保育理念 | 10 働くことが可能な家庭の状況 |
| 10 キャリアアップ・やりがい | 11 今後も保育士として働く気はない |
| 12 求人情報などの情報提供の充実 | 13 その他 (|
| 14 その他 (|) |

問 17 働いている方は、昨年の年収(すべての手当を含み、税・社会保険料等の控除前の金額)を教えてください。昨年働いていない方は「0」としてください。千円以下切り捨て。

万円

⇒問 21 へ

過去に保育士として働いたことのない方におたずねします。

問 18 あなたが保育士として働かなかった理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1 働く必要がなかった | 2 家事・育児に専念したかった |
| 3 就職活動をしたが、採用されなかった | 4 勤務日数・時間が合致する求人がなかった |
| 5 希望する給与等待遇の求人がなかった | 6 保育士の求人情報がなかった・少なかった |
| 7 適性がないと感じた | 8 別の職業を希望した |
| 9 資格取得が目的で、すぐに保育士として働く意思はなかった。 | |
| 10 家族等の意向 | |
| 11 その他 (|) |

問 19 あなたがもし保育士として働くこととした場合に重視する条件を教えてください(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 勤務日数・時間 | 2 通勤時間・手段 |
| 3 給与・賞与 | 4 ワークライフバランス・休暇等の取得のしやすさ |
| 5 住宅手当などの諸手当 | 6 雇用形態(非常勤職員・臨時職員希望) |
| 6 雇用形態(正規職員希望) | 7 その他 (|

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 8 施設の運営方針・保育理念 | 9 労働環境・人間関係等の相談体制 |
| 10 キャリアアップ・やりがい | 11 働くことが可能な家庭の状況 |
| 12 求人情報などの情報提供の充実 | 13 今後も保育士として働く気はない |
| 14 その他（ | ） |

問 20 働いている方は、昨年の年収（すべての手当を含み、税・社会保険料等の控除前の金額）を教えてください。昨年働いていない方は「0」としてください。

万円

皆さんにおたずねします。

問 21 札幌市では、保育士資格のある方への求人情報の提供やブランクのある方への復職支援などを無料で行う「札幌市保育人材支援センター さぼ笑み」を運営しています。「さぼ笑み」をご存じかどうか教えてください。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|--------------|--------|
| 1 知っている（登録済） | 2 知っている（未登録） | 3 知らない |
|--------------|--------------|--------|

【以下は任意項目です】

問 22 「さぼ笑み」では、求人情報等の提供のほか、皆さんの希望する就労条件をもとに、園とのマッチングや園見学・面接の付き添いのほか、復職セミナーなども行っています。今すぐにはなくても、少しでも保育士として就職を検討されている方は、ぜひ、さぼ笑みにご登録をお願いします。

- | | |
|-------------|---------|
| 1 さぼ笑みに登録する | 2 登録しない |
|-------------|---------|

問 23 「さぼ笑みに登録する」を選択された方は、後日、さぼ笑みから連絡（原則 E-mail）させていただきますので、連絡先を教えてください。（すぐに働きたい方など、お急ぎの方は、同封したチラシに掲載した二次元コードからも登録可能です。）

※この設問で記載していただいた情報は、「さぼ笑み」の登録と連絡のみに使用します。

お名前	
ご住所	〒
E-mail	

問 24 今後、札幌市が実施する保育の就職フェア、各種相談会などのイベント情報や札幌市の保育に関する取組み等について、情報提供を希望される方は、連絡先を記載してください。

※「さぼ笑みに登録する」を選択された方は、記載不要です。

※この設問で記載していただいた情報は、情報提供のみに使用します。

お名前	
ご住所	〒
E-mail	

以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。

